

少年審判通訳ハンドブック

【ベトナム語】

(改訂版)

最高裁判所事務総局

はじめに

少年審判において少年や保護者などが日本語を理解できない者である場合には、適正な調査や審判を実現するために、通訳が正しく行われることが必要です。しかし、調査や審判でのやり取りを正確に通訳することは、熟練した通訳人でも難しいものと思われまゝ。まして、法律を学んだことのない方が初めて少年審判の通訳をする場合は、戸惑うことが多いと思います。そのような場合、あらかじめ、調査や審判などでよく使われる定型的表現や用語についての通訳例を承知しておくとともに、少年審判がどのような目的で、どのような手続に従って行われるのかということについて正しい予備知識を持っておくことは、適切な通訳を行うために大切なことであると思われまゝ。

このハンドブックは、少年審判の通訳をすることになった方のために、通訳人として心得ておいていただきたいと思われること、知っていること役に立つと思われることをまとめ、通訳をする際の参考としていただくために作成したもので、少年審判の概要を説明した部分、通訳に当たっての注意事項を取りまとめた部分、調査や審判などでよく使われる定型的表現の対訳部分、さらに用語の対訳部分の4編からなっています。

このハンドブックが広く少年審判の通訳に当たる方の執務の参考になれば幸いです。

平成28年3月

最高裁判所事務総局家庭局

目 次

第1編	少年審判の概要	
第1	少年審判の意義と基本原理	1
1	少年審判の意義	1
2	少年審判の基本原則	1
(1)	教育主義（保護主義）	1
(2)	個別処遇の原則（処遇の個別化）	2
(3)	職権主義	3
第2	少年審判手続の流れ	3
1	事件の受理	3
(1)	対象事件	3
ア	少年保護事件	3
(ア)	犯罪少年	3
(イ)	触法少年	3
(ウ)	ぐ犯少年	3
イ	強制的措置許可申請事件	4
ウ	準少年保護事件	4
(2)	事件受理の態様	4
2	観護措置	4
(1)	意義	4
(2)	手続	5
ア	通訳人の氏名などの確認及び宣誓	5
イ	家庭裁判所調査官による面接	5
ウ	裁判官による観護措置決定手続	5
(ア)	少年の氏名などの確認	5
(イ)	黙秘権及び付添人選任権の告知	6

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取	6
(エ) 決定の告知	6
(オ) ウィーン条約の説明	6
(3) 期間など	6
3 調査	7
(1) 裁判官による法的調査	7
(2) 家庭裁判所調査官による社会調査	7
4 審判	8
(1) 審判の開始	8
(2) 審判の場所，関与者など	8
(3) 手続	9
ア 審判開始の宣言	9
イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓	9
ウ 少年の氏名などの確認	9
エ 黙秘権の告知	9
オ 非行事実の審理	9
カ 要保護性の審理	10
キ 決定の告知	10
(ア) 保護処分	10
a 保護観察	10
b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致	10
c 少年院送致	11
(イ) 不処分	11
(ウ) 知事又は児童相談所長送致	11
(エ) 検察官送致	11
(オ) 試験観察	12

	(カ) 没取	12
	(キ) 訴訟費用の負担	13
	ク 保護処分の趣旨の説明	13
	ケ 抗告権の告知	13
	コ ウィーン条約の説明	13
5	検察官及び弁護士である付添人が関与した審理	13
6	被害者等の傍聴	14
第2編	通訳に当たっての注意事項	15
第1	一般的注意事項	15
第2	具体的注意事項	17
1	観護措置決定手続段階	17
2	調査段階	17
3	審判段階	18
第3編	定型文言の対訳	20
第1	観護措置決定手続	20
1	家庭裁判所調査官による面接	20
2	前置き	20
3	少年の氏名などの確認	22
4	黙秘権の告知	22
5	付添人選任権の告知	22
6	非行事実の告知	22
7	少年の弁解の聴取	24
8	観護措置をとらない場合	24
9	観護措置をとる場合（決定の告知等）	24
10	少年鑑別所収容の通知の説明	24
11	ウィーン条約の説明	24

第2	調査手続	26
1	前置き	26
2	少年の氏名などの確認	26
3	手続の説明	26
4	審判の説明	28
5	処分の説明	28
第3	審判手続	30
1	審判開始の宣言	30
2	少年の氏名などの確認	30
3	黙秘権の告知	30
4	被害者等の傍聴がある場合の説明	32
5	非行事実の告知	32
6	少年の弁解の聴取	32
7	証人尋問手続	32
8	聴取の終了	34
9	調査官の意見陳述	34
10	付添人の意見陳述	34
11	決定などの告知及びその説明	34
12	抗告権の告知（保護処分に付された場合）	34
13	ウィーン条約の説明 （少年院送致や少年院への戻し収容の場合）	34
第4	非行事実の告知	36
1	窃盗罪（万引）の例	36
2	窃盗罪（バイク盗）の例	36
3	遺失物等横領罪の例	36
4	傷害罪の例	36

5	強盗罪の例	38
6	殺人罪の例（その1）	38
7	殺人罪の例（その2）	38
8	覚せい剤取締法違反の例	38
9	毒物及び劇物取締法違反の例	40
10	過失運転致傷罪の例	40
11	道路交通法違反（無免許運転）の例	40
12	道路交通法違反（速度違反）の例	40
13	売春防止法違反の例	40
14	出入国管理及び難民認定法違反の例	42
15	ぐ犯の例	42
第5	決定などの告知及びその説明	42
1	保護観察決定などの告知及びその説明	42
	(1) 保護観察決定の告知及びその説明	42
	(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明	44
2	児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知 及びその説明	44
3	少年院送致決定などの告知及びその説明	44
	(1) 少年院送致決定の告知及びその説明	44
	(2) 処遇勧告の告知及びその説明	44
	ア 短期間の処遇勧告の説明	44
	イ 特別短期間の処遇勧告の説明	44
4	不処分決定の告知	44
5	知事又は児童相談所長への送致決定の告知	46
6	検察官送致決定の告知	46
7	強制的措置許可決定の告知	46

8	強制的措置不許可決定の告知	46
9	試験観察決定などの告知及びその説明	46
10	没取決定の告知	46
11	訴訟費用負担決定の告知	46
12	戻し収容決定の告知	48
13	収容継続決定の告知	48
14	保護処分 of 取消決定の告知	48
15	施設送致決定の告知	48
第6	書式例	50
書式1	少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）	50
書式2	少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）	52
書式3	審判期日通知書	54
書式4	呼出状	56
書式5	呼出状（調査）	58
書式6	同行状（緊急）	60
書式7	観護措置通知書	62
書式8	付添人選任届	64
書式9	付添人選任に関する通知及び照会	66
書式10	付添人選任に関する回答書	68
書式11	決定通知書（審判不開始決定）	70
書式12	証人召喚状	72
書式13	証人等整理票	74
書式14	宣誓書	76
書式15	通報の要請に関する照会	78
第4編	用語の対訳	80
第1	法律関係用語	80

第2	調査関係用語	94
第3	官庁等諸機関名	97
第4	法令名	102
第5	罪名	107
	少年保護事件の手の続の流れ	111

第1編 少年審判の概要

第1 少年審判の意義と基本原理

1 少年審判の意義

一般に、少年は人格が未熟である半面、教育などにより改善される可能性が高いので、非行のある少年に対しては、責任を追及して刑罰による非難を加えるのではなく、非行の背景を探り、少年に保護、教育を行うことが、少年の健全な育成に役立つと考えられます。そこで、少年法（以下「法」といいます。）1条に掲げられている「少年の健全な育成」を図るため、非行のある少年の事件は、全て家庭裁判所に送らせ（これを「全件送致主義」といいます。）、家庭裁判所で少年の個別的な問題性を調査した上、個々の少年に応じた教育的な措置を行うこととされています。家庭裁判所における少年事件の審理は、刑事訴訟手続のように公開の法廷で検察官と被告人及び弁護人双方の主張につき裁判官が第三者的立場から判断をするのではなく、非公開の審判廷で、裁判官が、職権により、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人などの関係者の意見を聴いた上、少年の後見的役割も果たしつつ、少年の将来を考えて処分を決める構造となっています。一定の場合には、検察官も審判に出席しますが、この場合の検察官も家庭裁判所の審判の協力者として出席します。このように、少年の健全な育成を図る目的の下に家庭裁判所が行う、少年事件の受理から最終的な決定に至るまでの一連の手続を、少年審判といいます。

2 少年審判の基本原則

(1) 教育主義（保護主義）

少年審判は、非行のある少年について、できるだけ処罰でなく、教育的な手段によって非行性を矯正し、更生を図ることを目的としており、刑罰は、このような教育的な手段によって矯正することができないか、それが不適當な場合に限って科せられることになっています。これは、少年は、精神的に未熟、不

安定で、環境の影響を受けやすく、非行に至った場合にも必ずしも犯罪性が進んでいない者が多いので、これを成人と同視して、その責任を追及することは適当でないという考えと、少年は、たとえ罪を犯した場合にも人格の発達途上にあるものとして、成人に比べなお豊かな教育的可能性（可塑性）を有しており、指導や教育によって更生させることが期待できるにもかかわらず、教育によらずに刑罰という制裁を科すことは、本人の将来のためにならないばかりでなく、社会にとっても決して得策ではないという考えに基づいています。

このような考え方を教育主義といいます。教育主義は、全ての少年事件を家庭裁判所に送らせ（全件送致主義）、家庭裁判所において、必要な調査を行った上で少年の処分を決める仕組みになっていることにも表れています。

(2) 個別処遇の原理（処遇の個別化）

少年の非行の原因は様々であり、性格、環境などの問題点も多岐にわたりますから、これに対処して少年の非行性を取り除き、その更生を図るには、少年の個別的な問題性に応じた処遇を行うことが必要になります。このため、家庭裁判所においては、心理学、教育学、社会学などの行動科学の知見を活用した専門的な調査について訓練を受けている家庭裁判所調査官が、非行が起こったメカニズムを分析し、再非行を防ぐための手立てを検討するために、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などについて調べます（社会調査）。さらに、必要な少年に対しては、少年鑑別所において鑑別が行われることもあります。

また、個別的な処遇方法としては、保護処分として、保護観察、児童自立支援施設又は児童養護施設送致、少年院送致があり、保護観察と少年院送致については、運用上様々な処遇が用意されているほか、試験観察などの中間的な措置や家庭裁判所調査官による教育的な働き掛け（保護的措置）などがあります。刑事裁判の場合と異なり、少年の個別的な問題性に応じた処遇を選択することができるようになっています。

(3) 職権主義

刑事裁判では、被告人と検察官の対立する当事者がお互いに攻撃や防御を行い、裁判所が第三者的立場から判断を下すという当事者主義的な構造がとられています。少年審判では、これと異なり、家庭裁判所が、少年の健全な育成を図るため、自ら少年に関する広範な調査を行い、審問を行う職権主義的な構造がとられています。

少年審判に関与する者は、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人、検察官、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員、学校の教師など多数にわたりますが、いずれも少年の健全な育成という目的の下に協力的な立場に関与するものとされています。

第2 少年審判手続の流れ

1 事件の受理

(1) 対象事件

ア 少年保護事件

これは、家庭裁判所に送られてきた少年を保護処分に付すかどうかを判断する事件で、家庭裁判所が取り扱う少年に関する事件の中の主なものです。その対象となる少年は、次の3種類があります。

(ア) 犯罪少年

1 4歳以上20歳未満の罪を犯した少年（法3条1項1号）

(イ) 触法少年

刑罰の定めのある法令に触れる行為をしたが、行為の時14歳未満であったため、刑法上罪を犯したことにならない少年（法3条1項2号）

(ウ) ぐ犯少年

20歳未満で、保護者の正当な監督に服しないとか、正当な理由がないのに家庭に寄り付かないとか、あるいはいかがわしい場所に出入りするといった一定の行状があり、その性格や環境から見て将来罪を犯す又

は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年（法3条1項3号）

イ 強制的措置許可申請事件

これは、児童相談所等で取り扱っている児童について、適切な保護を行うため、児童の行動の自由を制限し、又はその自由を奪うような強制的な措置を必要とするときに、児童相談所等がそのような措置をとることの許可を求めて家庭裁判所にその児童を送致する事件です（法6条の7第2項）。

ウ 準少年保護事件

保護処分取消事件（法27条の2）、収容継続申請事件（少年院法138条、139条）、戻し収容申請事件（更生保護法71条、72条）及び施設送致申請事件（更生保護法67条2項、法26条の4）を準少年保護事件といい、これらの事件の手続は、性質に反しない限り少年保護事件のそれと同様です（法27条の2第6項、少年院法138条5項、139条3項、法26条の4第3項）。

(2) 事件受理の態様

家庭裁判所が少年保護事件を受理する方法としては、警察(司法警察員)からの送致(法41条)、検察官からの送致(法42条)のほか、知事又は児童相談所長からの送致(児童福祉法27条1項4号、法3条2項)。家庭裁判所調査官からの報告(法7条1項)、一般人からの通告(法6条1項)があります。また、強制的措置許可申請事件は、知事又は児童相談所長から送致されます(法6条の7第2項、児童福祉法27条の3)。

刑事事件における裁判所への事件の係属は、原則として検察官による公訴の提起に限られています(刑事訴訟法247条)が、少年事件の場合には、一般人を含めて、少年の健全な育成に関心を持つ者からの通告などによっても、事件を家庭裁判所に係属させる制度をとっているのが特徴です。

2 観護措置

(1) 意義

観護措置とは、家庭裁判所が調査や審判をするために、少年の心情の安定を図りながら、少年の身柄を確保しておく措置をいいます。これには、少年を家庭などに置いたまま、家庭裁判所調査官が随時連絡を取って少年を観護するもの（法17条1項1号）と、少年を少年鑑別所に収容するもの（法17条1項2号）の2種類がありますが、前者はほとんど利用されておらず、通常、観護措置というときは後者を指します。

後者の観護措置では、少年を少年鑑別所に収容することによりその身柄を確保するとともに、少年の行動を観察しながら鑑別を行います。そして、鑑別の結果は家庭裁判所に報告され、調査や審判の資料とされます。以下では、後者の観護措置を前提として、説明します。

(2) 手続

ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓

家庭裁判所調査官による面接（後記イ）や裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前提として、まず、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、調査や審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

イ 家庭裁判所調査官による面接

裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前に、家庭裁判所調査官が短時間少年に面接し、観護措置の要否について家庭裁判所調査官の立場からの意見を裁判官に提出する場合があります。家庭裁判所調査官による面接では、少年の氏名や生年月日、国籍、非行事実などの確認が行われるほか、少年審判手続についての一般的な説明も行われます。

ウ 裁判官による観護措置決定手続

(ア) 少年の氏名などの確認

裁判官は、直接少年に会った上で、少年に対し、少年の氏名、生年月

日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権及び付添人選任権を告げます。少年は裁判官の質問に対し、無理に答える必要はありません。また、少年事件において家庭裁判所の審判の協力者としての役割とともに、刑事事件の弁護人のような役割を果たす人を付添人といいますが、少年に付添人を選任できる権利（法10条）があることも分かりやすく説明します。

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の弁解を聴きます。

(エ) 決定の告知

裁判官は、少年に対し、観護措置をとる場合にはその旨の決定を告げ、観護措置をとらない場合にはその旨を告げます。

(オ) ウィーン条約の説明

裁判官が外国籍の少年について観護措置をとる旨の決定をした場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限ります。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

(3) 期間など

少年を少年鑑別所に収容することができる期間は、原則として2週間ですが、特に継続の必要があるときは、更新することができます（法17条3項）。更新は原則として1回を超えて行うことはできませんが、例外的に、更に2回を

限度として行うことができます（法17条4項）。したがって、少年を少年鑑別所に収容しておくことのできる期間は、最長8週間ということになります。

通常は、少年鑑別所において行う少年の行動観察や鑑別のために相当の期間を要するため、4週間近く収容されることが多いのが実情です。また、観護措置は、その必要がなくなったときは、いつでも取り消すことができます（法17条8項）。

3 調査

(1) 裁判官による法的調査

家庭裁判所が事件を受理すると、裁判官は、まず捜査機関から送られてきた記録を検討して、少年に本当に非行があるのかどうかを調査します（法的調査）が、記録を検討した結果、少年に非行があるとの蓋然的心証を得た場合には、家庭裁判所調査官に対し、少年の要保護性についての調査（社会調査）を命じます。しかし、少年が捜査段階で非行事実を否認している場合や、証拠関係に不明な点があって、非行事実の認定に問題があると裁判官が考えた場合には、家庭裁判所調査官に調査を命じる前に、審判を開き、その点について直接少年の弁解を聴き、証人などを調べる場合もあります。

(2) 家庭裁判所調査官による社会調査

家庭裁判所調査官は、裁判官から調査を命じられると、行動科学等の専門的知識を活用して、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などを調べ（社会調査）、非行の背景やメカニズムを分析するという役割を担っています。社会調査は、少年が非行を繰り返す傾向の強さ、その傾向を取り除くことのできる可能性、そして保護処分という手段で矯正することのできる可能性といった要素（要保護性といいます。）を検討するために行われます。。社会調査は、家庭裁判所調査官が主に少年や保護者などと面接して行われ、少年鑑別所に収容されている少年に対しては、少年鑑別所に出向いて行われます。少年との面接の際には、家庭裁判所調査官が、少年の氏名、生年月日、国籍や

非行事実などを確認するほか、少年の生育歴、入国の経緯、日本での生活状況、非行の経緯や背景などを聴きますが、一般的な手続の説明なども行います。

また、家庭裁判所調査官が少年の家に出向いて家庭などの状況を見てくるとや学校などに照会することもあります。調査に当たっては、少年の情操や名誉を傷つけないように、また、関係者の秘密が守られるように、十分な注意が払われています。

家庭裁判所調査官は、調査結果と少年が立ち直るために必要な処遇に関する意見を少年調査票という書面にまとめ、裁判官に報告します。

4 審判

(1) 審判の開始

裁判官は、家庭裁判所調査官の調査結果などを検討した上で、審判を開く必要があるかどうかを決めます。少年が事実を認めており、かつ、事案が軽微であり、調査の過程における家庭裁判所調査官からの教育的な働き掛けなどにより十分な手当てがされているなどの理由から、審判を開いて指導を行う必要がないと判断した場合には、審判不開始決定をして裁判官が少年に直接働き掛けを行うことなく手続を終了させます。少年が事実を否認している場合や保護処分（保護観察、少年院送致等）などの手当てをする必要があると判断した場合には、審判開始決定をして審判を開きます。

なお、少年が逮捕、勾留などにより身柄が拘束されたまま家庭裁判所に送致されて観護措置がとられたような場合には、調査命令を発する際に併せて審判開始決定をするのが一般です。

(2) 審判の場所、関与者など

審判は、原則として家庭裁判所の審判廷で行われ、非公開の場で、懇切を旨として、和やかに行うとともに、少年に対し、自己の非行について内省を促すものとされ（法22条1項）、少年の情操の保護が図られています。

審判には、裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、少年及び少年の保護

者が出席し、場合によっては、付添人、検察官、学校の教師、雇い主、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員などが出席することもあります。また、一定の重大な事件では、被害者等が審判を傍聴することもあります。

なお、裁判官については、1人の場合と3人の場合があります。重大事件などについては3人の合議体で審判が行われ、そのうちの1人が裁判長として手続を進めます。以下では裁判官が1人の場合について記述しますが、3人の合議体で審判が行われた場合にも、基本的に同じです。

(3) 手続

ア 審判開始の宣言

審判を開始するに当たっては、まず、裁判官が審判の開始を宣言します。

イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓

通訳人の氏名などの確認や宣誓が審判の前に行われていないときには、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。

通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、審判などでの通訳経験の有無などを聴かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

ウ 少年の氏名などの確認

裁判官は、少年に対し、少年の氏名、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを聴いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

エ 黙秘権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権を告げます。

オ 非行事実の審理

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の言い分を聴き、その上で捜査機関から送られてきた少年に不利な証拠の内容を告げて、これについて言い分を述べる機会を与えます。必要な場合には、証人尋問などの証拠調べも行われます。審判の進め方や証拠調べの範囲、方法などについては、裁

判官の裁量に委ねられていますが、この裁量も無制限ではなく、合理的なものでなければならないとされています。また、保護処分の決定を行うには、非行事実の存在について、間違いがないとの確信（合理的な疑いを超える確信）が必要とされています。

カ 要保護性の審理

裁判官は、非行事実の審理の結果、非行事実の存在について確信した場合には、続いて、少年の要保護性についての審理を行います。裁判官は、主として家庭裁判所調査官の作成した少年調査票や少年鑑別所の鑑別結果報告書の内容を踏まえて、少年や保護者に対し、非行の動機・原因のほか、少年自身の生い立ち、少年の家族関係、学校、職場などの環境などについて、そのポイントとなる点を確認し、あるいは自発的な発言を促してその言い分を十分に聴きます。また、その他の関係者から必要に応じて意見を述べてもらうこともあります。

キ 決定の告知

裁判官は、調査や審判の結果に基づいて、少年の非行事実及び要保護性を総合的に検討し、個々の少年の健全な育成のために最もふさわしい処分を決定し、少年にそれを告げます。

裁判官が審判で行う処分としては、次のようなものがあります。

(ア) 保護処分

a 保護観察

少年を家庭や職場に置いたまま、保護観察官や保護司が少年に対して指導監督と補導援護を行い、少年の改善更生を図るものです（法24条1項1号）。

b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致

児童自立支援施設や児童養護施設という児童福祉施設に少年を送って教育や養護を行うものです（法24条1項2号）。

c 少年院送致

少年を少年院という特別の矯正教育施設に収容して、少年が健全なものの考え方や規則正しい生活習慣を身に付けることができるように指導するものです（法24条1項3号）。少年院には、第1種から第4種までの4種類がありますが、家庭裁判所が少年を送致するのはこのうち第1種から第3種までの少年院です。少年を送致する少年院の種類は、決定において定められます。また、家庭裁判所は、第1種少年院に少年を送致する場合には、短期間（6か月）又は特別短期間（4か月）で処遇を終えることが適当である旨の処遇勧告を付すことができ、その場合には、少年院長は家庭裁判所の処遇勧告をそのまま受け入れる運用が行われています。

(イ) 不処分

審判の結果、非行事実が認められない場合や、非行事実が認められても、特に保護処分に付すまでの必要はないと認められた場合に行われるもので、少年を保護処分に付さないことを宣言するものです（法23条2項）。

(ウ) 知事又は児童相談所長送致

少年を児童福祉施設に入所させたり、少年に児童福祉司や児童委員による指導を受けさせたりするなど、児童相談所の措置に委ねることが適当であると認められた場合に行われるものです（法23条1項、18条1項）。

(エ) 検察官送致

死刑、懲役又は禁錮に当たる罪の事件について、調査をした上、その事件の重大性や犯情、さらには、少年の犯罪的危険性、非行歴などから判断して、刑罰を科すのが相当と認められるときに、事件を検察官に送致するものです。また、殺人や傷害致死など故意の犯罪行為によって被

害者を死亡させた罪の事件であって、犯行時に16歳以上の少年に係るものについては、原則として事件を検察官に送致することとされています（法23条1項、20条）。

送致を受けた検察官は、犯罪の嫌疑がある限り、原則として、刑事裁判所に公訴を提起（起訴）しなければならないとされています（法45条5号）。

なお、このほかに、本人が20歳以上であることが判明したときにも、事件を検察官に送致する決定が行われます（法23条3項、19条2項）。

観護措置がとられている事件について、検察官送致の決定をするときは、あらかじめ、本人に対し、罪となるべき事実や弁護人を選任することができる旨などが告げられます。さらに、死刑又は無期若しくは長期3年を超える懲役若しくは禁錮に当たる事件については、本人に対し、貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨などが告げられます（少年審判規則24条の2）。

(オ) 試験観察

試験観察とは、家庭裁判所が直ちに保護処分を選択するかどうかの最終決定を行いにくい場合に、(ア)から(エ)までのような最終的な決定を留保したまま、少年の非行性や更生可能性を見定めるために、相当の期間、少年を家庭裁判所調査官の観察に付すという中間的な決定です。その際には、併せて、遵守事項を定めてその履行を命じたり、適当な施設や個人などに少年の補導を委託したり（これを「補導委託」といいます。）するなどして、少年の行動を観察することもあります（法25条）。

(カ) 没取

没取とは、犯罪少年や触法少年について、審判不開始決定や（ア）から（ウ）までの決定等をするに当たり、犯罪に利用した凶器など一定の物の所有権を少年から剥奪し、国庫に帰属させるために行われる処分です（法24条の2）。

（キ） 訴訟費用の負担

家庭裁判所へ送致される前に少年に国選弁護人が付された事件について、不処分又は保護処分の決定がされた場合には、家庭裁判所は、少年に対し、その国選弁護費用（訴訟費用）を負担させることができます（法45条の3、刑事訴訟法181条1項）。

ク 保護処分の趣旨の説明

裁判官は、保護処分の決定を告げる場合には、少年及び保護者に対し、保護処分の趣旨を懇切に説明し、これを十分に理解させます（少年審判規則35条1項）。

ケ 抗告権の告知

裁判官は、保護処分の決定を告げた場合には、少年及び保護者に対し、決定に不服があるときは2週間以内に抗告申立書を裁判所に差し出して抗告をすることができる旨を告げます（少年審判規則35条2項）。

コ ウィーン条約の説明

裁判官が少年院送致や少年院への戻し収容の決定を告げた場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の本国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限りです。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

5 検察官及び弁護士である付添人が関与した審理

検察官は、原則として少年審判に関与しませんが、家庭裁判所は一定の罪の事

件で、その事実認定手続に検察官が関与する必要があると認めるときは、審判に検察官を出席させることができます（法 22 条の 2）。この場合に、家庭裁判所は、少年に弁護士である付添人がないときは、弁護士である付添人を付すこととされています（法 22 条の 3 第 1 項）。

また、検察官が関与しない場合でも観護措置がとられている一定の罪の事件に係る犯罪少年や触法少年の審判において、事案の内容、保護者の有無その他の事情を考慮し、必要があると認めるときは、弁護士である付添人を付することができることとされています（法 22 条の 3 第 2 項）。

このようにして検察官や弁護士である付添人が出席した審判においては、検察官や付添人から証拠調べの申出がされたり、少年や証人などに対して質問がされたりします。ただし、刑事裁判と異なり、検察官や付添人は家庭裁判所の審判の協力者として関与します。

6 被害者等の傍聴

少年審判は原則として非公開ですが、犯罪少年又は触法少年が起こした一定の重大な事件の被害者等は、裁判所の許可を受けて少年審判を傍聴することができます。被害者等から傍聴の申出があった場合には、裁判所は、少年の年齢及び心身の状態、事件の性質、審判の状況その他の事情を考慮し、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認めるときに限り、傍聴を許すことができます（法 22 条の 4）。

第2編 通訳に当たっての注意事項

第1編で少年審判の概要をおおむね御理解いただけたことと思います。通訳人の皆さんは、この少年審判の中で、言葉の通じない外国人の少年や保護者などと少年審判に関与する他の人とのいわばパイプ役を果たしていただくこととなります。少年審判においては、まず、少年に調査や審判などで何が行われているかを十分に理解させる必要があります。そして、裁判官や家庭裁判所調査官と少年などとの意思の疎通を十分に行いながら審理を進めていかなければなりません。そのためには正確な通訳が必要です。

本編では、通訳人の皆さんに心得ておいていただきたい注意事項をまとめてみました。

第1 一般的注意事項

1 良心に従って誠実に通訳を行ってください。

通訳人の皆さんには、通訳をするに当たってその旨の宣誓をしていただきます。これは、法律に基づくもので、適正な調査や審判などを実現するためのものです。

なお、故意に偽りの通訳を行いますと、処罰されることがあります。

2 公正を保ってください。

少年審判は、偏りのない、公正な手続で行われなければなりません。通訳人も、通訳をするに当たっては、立場上公正さを疑われるような行動をとってはならないので、少年や保護者などと交友関係があるなど特別の関係にある場合には、直ちに申し出てください。警察や検察庁での当該少年に対する取調べに通訳人として立ち会ったことがある場合には、必ず裁判所にその旨を伝えてください。また、少年や保護者などに対して名刺を渡したり、電話番号を教えたりするなど、少年やその関係者から接触してくる機会を与えないようにしてください。

もちろん、一緒に飲食したり、贈り物を受け取ったりするなどの行為は、絶対に行わないでください。

3 職務上知り得た秘密を漏らさないでください。

少年事件の調査や審判は、少年の社会復帰を助けるため、非公開で行われ、その内容は、外部には知らされません。特に、少年の非行の内容が外部に知れると、少年が就職する妨げになったり、学校を退学になったりすることがあり、その更生に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

通訳人の方は、調査や審判などの過程で、事件の内容に関する様々なことを知ります。特に、調査や審判においては、その性質上、少年の生育環境や心身の状況など、少年のプライバシーに関することを知ることも多くあります。これらの内容は絶対に他に漏らさないでください。少年審判は、秘密性を重視して行われるものですから、秘密の保護には特に注意してください。家庭裁判所調査官による調査に際しては、少年と保護者の間でも秘密にされている事項についての話もよくありますので、これらについては、外部だけではなく、少年や保護者に対しても、絶対に漏らさないでください。

4 少年から調査や審判以外の場で質問されたり、話しかけられたりした場合にも、少年との会話の内容については十分に注意してください。

少年は、慣れない土地で身体の自由の拘束を受けるなどしていますので、自分の話す言葉を理解してくれる通訳人に様々な相談をすることもあるかと思われまます。しかし、通訳人の個人的な経験などから、審判の見通しや今後の手続などを話したりすると、これによって少年が誤った期待等を抱いてしまうおそれが多分にあります。通訳人は、少年の助言者ではありません。少年の保護者、友人などから問合せや相談があった場合も同様です。

5 裁判所では、通訳人の皆さんに、正確な通訳をしていただくために、少年の非行事実を記載した書類をお渡しすることがありますが、この書類は、審判が終了したらすぐに担当の裁判所書記官に返却してください。また、分からないことが

あれば、担当の裁判所書記官にお尋ねください。

第2 具体的注意事項

1 観護措置決定手続段階

観護措置決定手続は、少年を少年鑑別所に收容するか否かを決める重要な手続ですから、裁判官や少年が話したことを忠実に通訳してください。観護措置決定手続段階における注意事項は、基本的に審判段階におけるものと同様ですから、後記3を参考にしてください。

2 調査段階

- (1) 家庭裁判所調査官、少年及び保護者が話したことを忠実に通訳してください。

家庭裁判所調査官は、行動科学の専門的知識を背景に、少年との面接の中で、様々な角度から少年に質問、あるいは心理テストなどを行い、少年の要保護性を調査します。家庭裁判所調査官の質問に対する少年の返答内容や態度などは、全て少年の人格を理解するために重要な要素となり、また、家庭裁判所調査官は、少年の反応や性格などにより、質問方法を変化させていきます。したがって、家庭裁判所調査官の質問を正確に通訳し、少年や保護者の言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳したりすることは極力避けてください。また、少年や保護者が質問に対する答え以外にも話をしている場合や質問をしていないのに話を始めた場合にも、その発言を禁止せずに通訳してください。

- (2) 通訳するときに、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたりしないでください。

通訳は、発言をできるだけ忠実に通訳することが原則です。通訳人が評価を交えるなどすると、発言の本当の内容が相手に伝わらず、誤解を生じることになります。もし家庭裁判所調査官が少年や保護者の発言の意味を理解できない場合には問い直しますので、通訳人がコメントを付け加えることは遠慮してください。

なお、少年を理解する上で必要と思われるもので、少年の母国の文化などについて、どうしても少年が説明しきれず、通訳人が裁判所に伝えておくことが望ましいと思われるものがある場合には、その旨を申し出た上、家庭裁判所調査官の指示に従ってください。

- (3) 家庭裁判所調査官の質問に分からない言葉があるなど疑問があった場合には、遠慮なく家庭裁判所調査官に尋ねてください。

通訳人を付けた事件の場合、家庭裁判所調査官はできるだけ簡潔に質問をするなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問やいくつもの質問が一度にされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を家庭裁判所調査官に申し出てください。また、専門用語などで意味の分からない言葉があった場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なく申し出てください。質問の意味をよく理解しないまま通訳を行ったのでは、調査の目的は達せられません。

- (4) 少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年などに追加説明しないでください。

質問する側としては、答える側がどれだけ質問を理解したかを把握することも大切です。少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、そのまま答えを通訳した上で、よく理解できていない旨を家庭裁判所調査官に告げてください。家庭裁判所調査官は、質問を変えるなどの工夫を行います。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま調査を進めると、思わぬ誤解を生じるおそれがあります。

- (5) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、家庭裁判所調査官の方を向いたりして、合図をしてください。

3 審判段階

- (1) 裁判官、少年、証人その他の関係者が話したことを忠実に通訳してください。

審判では、裁判官が同じ点について様々な角度から何度も尋ねることがあり

ます。これに対し、少年が同じようなことを繰り返しているように見える場合もあります。このような場合でも、それぞれの質問のニュアンスなどに注意して、言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳することは極力避けてください。また、通訳するときには、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたり、裁判官の指示によらないで少年らの発言を禁止したりしないでください。

- (2) 裁判官等の質問に意味の分からない言葉があるなど通訳がやりにくいと感じたときは、遠慮なくその旨を裁判官に申し出てください。

通訳人を付けた事件の場合、裁判官等はできるだけ簡潔にわかりやすく質問するなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問がされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を裁判官に申し出てください。また、質問の途中で難しい言葉が出てきた場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なくその旨を申し出てください。質問の意味などをよく理解しないまま通訳を行ったのでは、審判の目的は達せられません。

- (3) 少年や証人が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年らに説明することなく、そのまま答えを通訳した上で、十分に理解できていない旨を裁判官に告げてください。裁判官は質問の仕方を変えたりして工夫します。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま手続を進めると、思わぬ誤解を生じたりします。

- (4) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、裁判官の方を向いたりして、合図をしてください。

第3編 定型文言の対訳

〔一般的には、ここに記載されたような方式で行われますが、必ずしもここに書かれているとおりの内容が述べられるとは限りませんし、ほかの内容が述べられることもあります。なお、本編では、裁判官が1人で、検察官が関与しない審理について記載していますが、裁判官が3人である場合や検察官が関与する場合についても、以下に記載した手続の流れは基本的に同じです。〕

第1 観護措置決定手続

1 家庭裁判所調査官による面接を行う場合

〔ここに記載されているほかは、第2の2以下の内容を参考にしてください。〕

私は、家庭裁判所調査官の〇〇です。

最初に、私が、今回の非行や現在の生活状況などについて聴き、その後に裁判官の面接があります。

裁判官の面接では、もう一度、君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などが聴かれます。

裁判官の面接では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

事実と違う点や納得のできない点があれば、その機会に述べてください。

裁判官は、今回の非行の内容、君のこれまでの生活状況などを考慮して、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に収容する必要があるかどうかを判断します。

2 前置き

私は、裁判官の〇〇です。

君について〇〇事件が送られてきました。

今後、君に本当に非行があるかどうかを確かめた上で、最終的な処分を決めて

I. Thủ tục quyết định biện pháp giám hộ quan sát

1 Trường hợp thực hiện phỏng vấn của Điều tra viên của Tòa án gia đình

[Ngoài những điều ghi dưới đây, hãy tham khảo thêm nội dung từ II. 2 trở xuống.]

Tôi tên là _____, Điều tra viên của Tòa án gia đình.

Trước hết, tôi sẽ hỏi em về hành vi phạm pháp lần này và tình hình đời sống hiện nay của em, sau đó Thẩm phán sẽ phỏng vấn em.

Trong cuộc phỏng vấn, Thẩm phán sẽ hỏi em một lần nữa về họ tên, ngày tháng năm sinh, nghề nghiệp, quốc tịch, nơi cư trú tại Nhật Bản v.v... của em.

Trong cuộc phỏng vấn, Thẩm phán sẽ cho em biết nội dung của hành vi phạm pháp mà em bị cho là đã làm lần này, và cho em cơ hội để biện minh.

Nếu có điểm nào mà em thấy là không đúng sự thật hoặc em không thể đồng ý thì hãy trình bày vào lúc đó.

Thẩm phán sẽ cân nhắc nội dung của hành vi phạm pháp lần này cũng như tình hình đời sống của em cho đến hiện tại và phán đoán xem có cần đưa em vào Trại giám định thiếu niên để điều tra vấn đề của em hay không.

2 Lời mở đầu

Tôi là Thẩm phán _____.

Vụ án _____ của em đã được gửi đến đây.

Sau đây, trên cơ sở xác nhận xem có phải em thực sự có hành vi phạm

いくこととなりますが、今日は、その前提として、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に送致する必要があるかどうかを決めます。

これからの手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の言っている意味が分からないときは、何でも遠慮なく聞いてください。

3 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

4 黙秘権の告知

これからいくつか質問しますが、君は無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

しかし、言いたいことがあれば、遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

5 付添人選任権の告知

君や君のお父さん、お母さんなどの保護者は、今回の審判のために、付添人を頼むことができます。

付添人とは、裁判所の審判に協力しながら、君の権利を守ったり、相談に乗ってくれたりする人です。

弁護士以外の人を付添人に頼む場合は、家庭裁判所の許可が必要です。

6 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。

よく聞いておいてください。

pháp hay không, Tòa sẽ quyết định xử lý cuối cùng. Ngày hôm nay, với tiền đề đó, Tòa sẽ quyết định xem có cần đưa em vào Trại giam định thiếu niên để điều tra tìm hiểu vấn đề của em hay không.

Về những thủ tục sẽ tiến hành sau đây, Tòa đã chọn một người phiên dịch và người này sẽ phiên dịch cho em. Người phiên dịch đã tuyên thệ sẽ phiên dịch một cách trung thực.

Khi em không hiểu những lời tôi nói thì đừng ngần ngại, cứ hỏi.

3 Xác nhận họ tên v.v... của thiếu niên

Tên em là gì?

Em sinh ngày tháng năm nào?

Em mang quốc tịch gì?

Tại Nhật Bản, hiện nay em sống ở đâu?

Nghề nghiệp hiện nay của em là gì?

4 Thông báo về quyền giữ im lặng

Sau đây tôi sẽ hỏi em một số câu hỏi nhưng em không bắt buộc phải trả lời. Kể cả em có im lặng đi nữa thì chỉ riêng việc đó cũng không trở thành bất lợi cho em.

Nhưng nếu em có điều gì muốn nói thì đừng ngần ngại, cứ nói.

Tuy nhiên, những điều mà em đã nói, dù có lợi hay bất lợi cho em, đều có thể được dùng làm chứng cứ.

5 Thông báo về quyền lựa chọn người đi kèm

Em hoặc người giám hộ như cha, mẹ em có thể nhờ người đi kèm trong phiên tòa lần này.

Người đi kèm là người vừa hợp tác với việc xét xử của Tòa án, vừa bảo vệ quyền lợi của em và góp ý cho em.

Trường hợp nhờ người không phải là luật sư làm người đi kèm thì phải có sự cho phép của Tòa án gia đình.

6 Thông báo sự việc hành vi phạm pháp

Sau đây tôi sẽ đọc nội dung của vụ án do Công tố viên (cảnh sát) gửi đến.

Em hãy nghe cho kỹ.

[第4 (非行事実の告知) 参照]

7 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

8 観護措置をとらない場合

君を少年鑑別所に送致しないことにします。

今日は帰ってもらいます。

しかし、これで裁判所の手続が終わったわけではありません。

後日、調査や審判の呼出しがありますから、そのときは必ず裁判所に来てください。

9 観護措置をとる場合 (決定の告知等)

君を少年鑑別所に送致することにします。

少年鑑別所にいる期間は、通常、最長4週間です。なお、場合によっては、最長8週間まで更新されることがあります。

その間、少年鑑別所の技官や家庭裁判所調査官が君の性格、環境などに問題がないかどうか、あるとすれば何かといったことを知るため、心理テストや調査を行うこととなります。この調査等にはできる限り応じてください。

また、自分自身や生活面の問題点は何か、それをどのように直していくかについて、審判で裁判官に説明できるように考えを整理しておいてください。

10 少年鑑別所収容の通知の説明

君が少年鑑別所に収容されることは、君のお父さん、お母さんなどの保護者に通知します。

誰への通知を希望しますか。

その人の名前と住所及び君とその人との関係を教えてください。

11 ウィーン条約の説明

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

[Tham khảo IV (Thông báo sự việc hành vi phạm pháp)]

7 Nghe biện minh của thiếu niên

Về nội dung tôi vừa đọc, nếu em thấy có điều gì sai hoặc không hiểu thì đừng ngần ngại mà hãy nói ra.

8 Trường hợp không áp dụng biện pháp giám hộ quan sát

Tòa quyết định sẽ không gửi em đến Trại giám định thiếu niên.

Hôm nay em hãy về nhà.

Tuy nhiên thủ tục của Tòa án chưa phải đến đây là đã chấm dứt.

Sau này khi Tòa gọi để điều tra hay mở phiên xử, lúc đó em phải trình diện tại Tòa án.

9 Trường hợp áp dụng biện pháp giám hộ quan sát (thông báo quyết định v.v...)

Tòa quyết định sẽ gửi em đến Trại giám định thiếu niên.

Thời gian ở Trại giám định thiếu niên thông thường dài nhất là 4 tuần. Tuy nhiên tùy theo từng trường hợp có thể được thay đổi, dài nhất là 8 tuần.

Trong thời gian đó, kỹ thuật viên của Trại giám định thiếu niên và Điều tra viên của Tòa án gia đình sẽ làm trắc nghiệm tâm lý và điều tra để xem có vấn đề trong tính cách và hoàn cảnh v.v... của em hay không, nếu có thì để biết đó là gì. Em hãy cố gắng đáp ứng hết mức có thể trong các điều tra v.v... này.

Ngoài ra, em hãy sắp xếp suy nghĩ để có thể giải thích được cho Thẩm phán ở phiên xử về bản thân em cũng như vấn đề trong cuộc sống của em là gì, và sẽ sửa đổi những điều đó như thế nào.

10 Giải thích về thông báo giữ tại Trại giám định thiếu niên

Tòa sẽ thông báo cho người giám hộ của em như cha, mẹ của em về việc em sẽ bị giữ tại Trại giám định thiếu niên.

Em muốn Tòa thông báo điều này cho ai?

Hãy cho biết họ tên, địa chỉ của người đó, cũng như mối quan hệ giữa em với người đó.

11 Giải thích về Công ước Viên

[Trừ trường hợp đã quyết định thực hiện thông báo dựa trên Hiệp ước giữa hai quốc gia.]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、警察や検察官が通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第2 調査手続

1 前置き

私は、君の担当の家庭裁判所調査官の〇〇です。

君について、〇〇事件が検察官（警察）から家庭裁判所に送られてきました。

今日は、この事件のことや君のこれまでの生活、家族のことなどについて話を聴きたいと思います。

今日は、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 手続の説明

家庭裁判所では、本当に君に非行があるかどうかを確認します。

君に非行がある場合は、どうしてそういうことをしてしまったか、今後繰り返さないためにはどうしたらよいかということを考え、どのような指導や教育が

Nếu em có mong muốn thì thẻ theo Công ước Viên về quan hệ lãnh sự, Tòa sẽ thông báo điều này cho Đại sứ quán v.v...của nước em tại Nhật Bản.

Tuy nhiên Tòa chỉ gửi thông báo trong trường hợp cảnh sát hay Công tố viên chưa thông báo.

Em có muốn thông báo hay không?

Ngoài ra em có thể gửi thư cho Đại sứ quán v.v....của nước em tại Nhật Bản nếu thư này không vi phạm luật pháp của Nhật Bản.

II. Thủ tục điều tra

1 Lời mở đầu

Tôi là _____, Điều tra viên của Tòa án gia đình phụ trách vụ án của em.

Vụ án _____ của em đã được Công tố viên (cảnh sát) gửi đến Tòa án gia đình.

Hôm nay tôi sẽ hỏi em về vụ án này, về đời sống của em cho đến hiện tại, về gia đình em v.v...

Hôm nay, một người phiên dịch do Tòa chọn sẽ phiên dịch cho em. Người phiên dịch đã tuyên thệ sẽ phiên dịch một cách trung thực.

Khi em không hiểu câu hỏi của tôi, đừng ngần ngại, cứ hỏi.

2 Xác nhận họ tên v.v...của thiếu niên

Tên em là gì?

Em sinh ngày tháng năm nào?

Em mang quốc tịch gì?

Tại Nhật Bản, hiện nay em sống ở đâu?

Nghề nghiệp hiện nay của em là gì?

3 Giải thích thủ tục

Tại Tòa án gia đình, Tòa sẽ xác nhận xem có phải em thực sự có hành vi phạm pháp hay không.

Trường hợp em có hành vi phạm pháp, Tòa sẽ xem xét tại sao em đã làm như vậy, làm thế nào để ngăn ngừa việc tái phạm sau này, cân nhắc xem cần những hướng dẫn và giáo dục như thế nào và quyết định xử lý thích đáng nhất

必要かを考慮して最も適当な処分を決めています。

今日は、今回の事件の原因を君と一緒に考えたいと思います。

君から聴いた内容は、裁判官に報告します。

裁判官は、その内容を踏まえた上で、君の処分を決めます。

4 審判の説明

審判は、裁判の一種です。

審判は、原則として非公開で行うことになっています（が、この事件については、裁判所が被害者等に審判を傍聴することを許可しましたので〔被害者等から傍聴の申出が出ていますので、これを裁判所が許可すれば〕、被害者等が審判を傍聴することができます。傍聴が許されるのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重するためであることをよく理解してください。）。

審判廷には、裁判官のほか、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、君、君の保護者、君の付添人などが出席します。

審判では、裁判官が君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを確認します。

審判では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

君も、審判までに、今回の非行の原因や今後の生活などをよく考えておいてください（また、被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。）。

そして、審判の時には、君の考えていることを率直に話すようにしてください。

また、事実と違う点や納得できない点があれば、その機会に述べてください。

5 処分の説明

家庭裁判所の行う処分には、施設に入って生活指導などを受けるものとして少年院送致、児童自立支援施設送致及び児童養護施設送致があります。

cho em.

Hôm nay tôi sẽ cùng với em tìm hiểu nguyên nhân của vụ án này.

Tôi sẽ báo cáo cho Thẩm phán những điều em nói với tôi.

Sau khi cân nhắc nội dung đó, Thẩm phán sẽ quyết định xử lý đối với em.

4 Giải thích về phiên xử

Phiên xử là một hình thức xét xử.

Phiên xử về nguyên tắc là phiên xử kín không công khai (tuy nhiên trong vụ án này vì Tòa án đã cho phép việc người bị hại v.v...dự thính phiên xử [nếu có yêu cầu dự thính từ người bị hại v.v...và Tòa án cho phép việc đó], nên người bị hại v.v...có thể dự thính phiên xử. Em hãy hiểu rõ rằng việc cho phép dự thính phiên xử là vì tôn trọng tâm tư của người bị hại v.v...muốn trực tiếp mắt thấy tai nghe phiên xử và biết rõ tình hình phiên xử).

Trong phòng xử, ngoài Thẩm phán còn có Điều tra viên Tòa án gia đình, thư ký Tòa án, em, người giám hộ của em, người đi kèm của em v.v...cũng có mặt.

Tại phiên xử, Thẩm phán sẽ xác nhận họ tên, ngày tháng năm sinh, nghề nghiệp, quốc tịch, nơi cư trú tại Nhật Bản v.v...của em.

Tại phiên xử, Thẩm phán sẽ cho em biết nội dung của hành vi phạm pháp mà em bị cho là đã làm lần này và cho em cơ hội để biện minh.

Trước khi đến phiên xử, em hãy suy nghĩ về nguyên nhân của hành vi phạm pháp lần này cũng như cuộc sống từ nay về sau v.v... (Ngoài ra, mặc dù người bị hại v.v...cũng đang dự thính phiên xử nhưng em hãy bình tĩnh để có thể nói ra được suy nghĩ của mình).

Tại phiên xử, em hãy trình bày một cách thẳng thắn những điều em suy nghĩ.

Ngoài ra, nếu em thấy có điểm nào không đúng với sự thật hoặc em không thể đồng ý thì lúc đó em hãy nói ra.

5 Giải thích về xử lý

Trong xử lý mà Tòa án gia đình tiến hành gồm có gửi đến Trường cải tạo thiếu niên, gửi đến Cơ sở hỗ trợ trẻ em tự lập và gửi đến Cơ sở giáo dục trẻ em, đưa thiếu niên vào các cơ sở này để tiếp nhận hướng dẫn, chỉ đạo sinh hoạt v.v...

また、社会の中で保護観察官や保護司から指導を受ける保護観察もあります。

さらに、検察官送致とって、事件を刑事裁判に回して大人と同様に罰金や懲役という刑罰によって責任をとってもらおうようにすることもあります。

君が十分に反省しており、二度と非行を繰り返すおそれがないと思われる場合には、これらの処分を行わないで事件を終了させることもあります。

また、審判を開かずに今回の手続を終わらせることもあります。

そのほかに、試験観察という中間的な処分もあります。これは、最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を適当な人の所に預けて補導してもらったり、家に帰って普通の社会生活をしたりする中で、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

なお、家庭裁判所による処分がなくても、入国管理当局の判断で、国外退去などを命じられることがあります。

第3 審判手続

1 審判開始の宣言

今から、審判を開いて、君の処分を決めることにします。

今日の手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。

通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 黙秘権の告知

Ngoài ra còn có cả hình thức giám hộ quan sát, theo đó thiếu niên sẽ sống bình thường trong xã hội, nhưng nhận sự chỉ đạo của nhân viên giám hộ quan sát hoặc trợ lý nhân viên giám hộ quan sát.

Hơn thế nữa, còn có hình thức chuyển sang Công tố viên, theo đó Tòa sẽ chuyển vụ án cho Tòa án hình sự để thiếu niên chịu trách nhiệm bằng hình phạt tiền hoặc ngồi tù giống như người thành niên.

Trường hợp Tòa thấy rằng em đã thành tâm hối cải và không có nguy cơ tái phạm lần nữa, Tòa sẽ không thực hiện các hình thức xử lý như trên và sẽ kết thúc vụ án.

Ngoài ra Tòa cũng có thể kết thúc thủ tục lần này mà không mở phiên xử.

Ngoài những cách xử lý kể trên, còn có một cách xử lý trung gian gọi là quan sát thử. Đây là việc trước khi quyết định xử lý cuối cùng, trong thời gian nhất định, em sẽ được gửi ở chỗ một người thích hợp để họ hướng dẫn dìu dắt em, hoặc em trở về nhà sống cuộc sống bình thường trong xã hội, trong thời gian đó hoạt động và tình hình sinh hoạt của em sẽ bị quan sát. Tòa sẽ xem quá trình đó rồi mở lại phiên xử và có quyết định xử lý cuối cùng.

Ngay cả khi Tòa án gia đình không xử lý đi nữa, thì tùy theo phán đoán của Cục quản lý nhập cảnh, em cũng có thể bị trục xuất ra khỏi quốc gia v.v...

III. Thủ tục của phiên xử

1 Tuyên bố bắt đầu phiên xử

Từ lúc này trở đi, Tòa sẽ mở phiên xử để quyết định xử lý đối với em.

Về những thủ tục tiến hành hôm nay, Tòa đã chọn một người phiên dịch, người này sẽ phiên dịch cho em. Người phiên dịch đã tuyên thệ sẽ phiên dịch một cách trung thực.

Khi em không hiểu những câu hỏi của tôi, đừng ngần ngại, cứ hỏi.

2 Xác nhận họ tên v.v... của thiếu niên

Tên em là gì?

Em sinh ngày tháng năm nào?

Em mang quốc tịch gì?

Tại Nhật Bản, hiện nay em đang sống ở đâu?

Nghề nghiệp hiện nay của em là gì?

3 Thông báo quyền giữ im lặng

これから君に質問をしていきますが、君はこれらに無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

言いたいことがあれば、何でも遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

4 被害者等の傍聴がある場合の説明

この事件では、被害者等が審判を傍聴しています。傍聴を許可したのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重したためです。被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。

5 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。よく聞いておいてください。

〔第4（非行事実の告知）参照〕

6 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からないことがあったら、何でも遠慮なく言ってください。

7 証人尋問手続

今から、あなたをこの事件の証人として尋問します。

まず、うそをつかないという宣誓をしていただきます。宣誓書の内容を読み上げてください。

（証人）「良心に従って、ほんとうのことを申します。知っていることをかくしたり、無いことを申したりなど、決して致しません。以上のとおり誓います。

証人〇〇」

では、宣誓書に署名押印してください。

証人は、今宣誓したように本当のことを証言してください。

Sau đây tôi sẽ đặt câu hỏi với em nhưng em không bắt buộc phải trả lời các câu hỏi này. Kể cả em có im lặng đi nữa thì chỉ riêng việc đó cũng không trở thành bất lợi cho em.

Nhưng nếu em có điều gì muốn nói, đừng ngần ngại, cứ nói ra.

Tuy nhiên, những điều mà em đã nói, dù có lợi hay bất lợi cho em, đều có thể được dùng làm chứng cứ.

4 Giải thích trong trường hợp có người bị hại v.v...dự thính phiên xử

Trong vụ án này thì người bị hại v.v...đang dự thính phiên xử. Việc cho phép dự thính phiên xử là vì tôn trọng tâm tư của người bị hại v.v...muốn trực tiếp mắt thấy tai nghe phiên xử và biết rõ tình hình phiên xử. Tuy người bị hại v.v...đang dự thính phiên xử nhưng em hãy bình tĩnh để có thể nói ra được suy nghĩ của mình.

5 Thông báo sự việc của hành vi phạm pháp

Sau đây tôi sẽ đọc nội dung của vụ án do Công tố viên (cảnh sát) gửi đến. Hãy nghe cho kỹ.

[Tham khảo IV (Thông báo sự việc của hành vi phạm pháp)]

6 Việc nghe lời biện minh của thiếu niên

Về nội dung tôi vừa đọc, nếu em thấy có điều gì sai hoặc không hiểu rõ, đừng ngần ngại, cứ nói ra.

7 Thủ tục chất vấn nhân chứng

Bây giờ Tòa sẽ chất vấn ông (bà) được xem là nhân chứng trong vụ này.

Trước hết, xin ông (bà) hãy tuyên thệ là không nói dối. Xin hãy đọc to nội dung Giấy tuyên thệ.

(Nhân chứng) “Tôi xin thề với lương tâm là sẽ nói sự thật, tuyệt đối không che giấu những việc tôi biết và nói những việc không có thật. Tôi xin thề. Nhân chứng _____.”

Vậy nhân chứng hãy ký tên và đóng dấu vào Giấy tuyên thệ.

Nhân chứng hãy nói sự thật như vừa tuyên thệ.

宣誓の上でその証言をすると、偽証罪で処罰されることがあります。

証言することによって証人自身又は証人の近親者が刑事訴追を受けたり、有罪の判決を受けたりするおそれのある事柄については、証言を拒むことができます。その場合には、申し出てください。

〔証人尋問の実施〕

以上で証人尋問を終わります。

証人は、御苦労さまでした。

8 聴取の終了

これで話を聴くのを終わりにして、君に対する処分を決めることにします。最後に何か言っておきたいことがあれば言ってください。

9 調査官の意見陳述

既に提出している少年調査票記載の意見欄のとおりで、特に付け加えることはありません。

10 付添人の意見陳述

意見書のとおりで、特に付け加えることはありません。

11 決定などの告知及びその説明

それでは、今から君の処分を告知します。

〔第5（決定などの告知及びその説明）参照〕

12 抗告権の告知（保護処分に付された場合）

この決定に不服があるときは、君や君の法定代理人及び付添人は、抗告することができます。

抗告する場合には、2週間以内に、〇〇高等裁判所宛ての抗告の申立書をこの裁判所に出してください。

抗告の申立書は、少年院などの施設の長又はその代理者を通じて出すことができます。

13 ウィーン条約の説明（少年院送致や少年院への戻し収容の場合）

Nếu nhân chứng nói dối sau khi đã tuyên thệ, nhân chứng có thể bị trừng phạt về tội làm chứng gian dối.

Đối với sự việc mà vì việc làm chứng mà bản thân nhân chứng hay người thân thích của nhân chứng có khả năng bị truy cứu hình sự hoặc bị phán quyết là có tội thì nhân chứng có thể từ chối làm chứng. Trong trường hợp đó, nhân chứng hãy đề nghị với Tòa.

[Thực hiện chất vấn nhân chứng]

Trên đây là kết thúc chất vấn nhân chứng.

Xin cảm ơn nhân chứng.

8 Kết thúc phần nghe trình bày

Đến đây Tòa kết thúc việc nghe trình bày, và sẽ quyết định xử lý đối với em. Cuối cùng nếu em có gì muốn nói thì hãy nói ra.

9 Trình bày ý kiến của Điều tra viên

Giống như mục ý kiến ghi trong Phiếu điều tra thiếu niên đã nộp từ trước, không có bổ sung gì thêm.

10 Trình bày ý kiến của người đi kèm

Giống như trong Bản ý kiến, không có bổ sung gì thêm.

11 Thông báo và giải thích về quyết định v.v...

Bây giờ Tòa sẽ thông báo về xử lý đối với em.

[Tham khảo V (Thông báo và giải thích quyết định v.v...)]

12 Thông báo quyền kháng án (trong trường hợp bị xử lý giám hộ)

Trong trường hợp phản đối quyết định này thì em hoặc người đại diện theo pháp luật, và người đi kèm của em có thể kháng án.

Trong trường hợp kháng án, trong vòng 2 tuần, hãy đưa đơn kháng án đến Tòa án với nơi nhận là Tòa án cấp cao _____.

Đơn kháng án có thể đưa thông qua Giám đốc hay người đại diện của các cơ sở như Trường cải tạo thiếu niên.

13 Giải thích về Công ước Viên (trong trường hợp gửi đến Trường cải tạo thiếu niên hoặc đưa trở lại Trường cải tạo thiếu niên)

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、今までにこの事件で通報していない場合に限りです。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第4 非行事実の告知

1 窃盗罪（万引）の例

「君は、平成○年5月10日午後1時23分頃、東京都○○区○○町1丁目5番12号所在の株式会社○○店において、同店の店長であるAが管理していた万年筆5本（販売価格合計5万円）を盗んだものです。」

2 窃盗罪（バイク盗）の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、Aが所有する第一種原動機付自転車1台（時価約15万円相当）を盗んだものです。」

3 遺失物等横領罪の例

「君は、平成○年7月21日午後9時30分頃、東京都○○区○○町5丁目3番4号所在の○○自転車置場において、その場所に放置されていたAが所有する自転車1台（時価約6000円相当）を発見し、これを自分の物にするつもりで拾得して横領したものです。」

4 傷害罪の例

「君は、平成○年1月15日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目6番15号先路上において、Aが君の身体にぶつかったことから口喧嘩し、腹を立てて、持っていた長さ約50センチメートルの木棒でAの頭部を5、6回

[Trừ trường hợp đã quyết định thực hiện thông báo dựa trên Hiệp ước giữa hai quốc gia.]

Nếu em có mong muốn, thể theo Công ước Viên về quan hệ lãnh sự, Tòa sẽ thông báo việc này cho Đại sứ quán v.v...của nước em tại Nhật Bản.

Tuy nhiên Tòa chỉ thông báo trong trường hợp từ trước tới nay chưa thông báo gì về sự việc này.

Em có muốn Tòa thông báo không?

Em có thể gửi thư cho Đại sứ quán v.v...của nước em tại Nhật Bản, nếu thư này không vi phạm luật pháp của Nhật Bản.

IV. Thông báo sự việc hành vi phạm pháp

1 Ví dụ về tội trộm cắp (ăn cắp ở cửa hàng)

“Ngày 10 tháng 5 năm _____, vào khoảng 1 giờ 23 phút chiều, tại cửa hàng Công ty cổ phần _____, ở số 5-12, _____ cho 1 chomei Quận _____, Tokyo, em đã ăn cắp 5 cây bút máy do ông A là chủ cửa hàng này quản lý (tổng giá bán 50.000 yên).”

2 Ví dụ về tội trộm cắp (trộm cắp xe gắn máy)

“Ngày 12 tháng 10 năm _____, vào khoảng 3 giờ 35 phút chiều, trên con đường trước số 3-5, _____ cho, 2 chome, Quận _____, Tokyo, em đã lấy trộm một chiếc xe gắn máy loại 1 (thời giá tương đương khoảng 150.000 yên) do A sở hữu.”

3 Ví dụ về tội biển thủ đồ thất lạc v.v...

“Ngày 21 tháng 7 năm _____, vào khoảng 9 giờ 30 phút tối, tại bãi để xe đạp _____ ở số 3-4, _____ cho, 5 chome, Quận _____, Tokyo, em đã phát hiện một chiếc xe đạp do A sở hữu đang được bỏ tại đó (thời giá tương đương khoảng 6.000 yên), và đã nhặt lấy, biển thủ chiếc xe này làm đồ của mình.”

4 Ví dụ về tội gây thương tích

“Ngày 15 tháng 1 năm _____, vào khoảng 10 giờ 30 phút tối, trên con đường trước số 6-15, _____ cho, 1 chome, Quận _____, Tokyo, em đã cãi vã

強く叩き、それによって、Aに対し、加療約3週間を要する前頭部裂傷の傷害を負わせたものです。」

5 強盗罪の例

「君は、生活費に困り、通行人からお金を奪い取ろうと考えて、平成○年6月13日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目1番12号先路上において、通りかかったA（当時18歳）を近くの路地に連れていき、Aに対し、持っていた登山ナイフを突きつけながら「金出せ。金出せ。」と言って脅迫し、Aが反抗できない状態にした上、Aの所有していた現金3万円を差し出させて奪い取ったものです。」

6 殺人罪の例（その1）

「君は、平成○年7月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町3丁目10番5号所在の平和住宅1号室において、君の長男A（当時生後1か月）の養育に疲れ、将来を悲観して、Aを殺そうと決意し、持っていたタオルでAの頸部を絞めつけるなどし、そのことによりAを窒息死させて殺害したものです。」

7 殺人罪の例（その2）

「君は、平成○年1月31日午後10時30分頃、東京都○○区○○町6丁目3番4号先路上において、A（当時19歳）から身体が触れたことで因縁をつけられ、突然腹部などを数回足蹴りするなどの暴行を加えられたことにかつとなり、とっさに、殺意をもって、持っていたナイフ（刃体の長さ約15センチメートル）で、Aの右胸部を数回突き刺し、右胸部に刺し傷を負わせ、間もなく、その場所において、その刺し傷による出血多量によりAを死亡させて殺害したものです。」

8 覚せい剤取締法違反罪の例

「君は、法定の除外事由がないのに、平成○年10月21日午後10時30分頃、東京都○○区○○町1丁目2番8号所在の平和住宅2号室において、フェニルメチルアミノプロパンの塩類若干量を含有する水溶液を、自分の身体に注

với A vì A va vào người em, em nổi nóng dùng cây gậy gỗ dài khoảng 50 centimet mang theo đập mạnh vào đầu A từ 5 đến 6 lần, vì vậy làm A bị thương ở phần trước đầu, phải chữa trị khoảng 3 tuần lễ.”

5 Ví dụ về tội cướp đoạt

“Em đã gặp khó khăn về chi phí sinh hoạt nên đã nghĩ đến việc cướp đoạt tiền bạc của người qua đường. Ngày 13 tháng 6 năm _____, khoảng 10 giờ 30 phút tối, trên con đường trước số 1-12, _____cho, 3 chome, Quận _____, Tokyo, em đã uy hiếp một người qua đường tên là A (lúc đó 18 tuổi), dẫn vào một đường hẻm gần đó dùng dao leo núi mang theo dí vào A và nói “kanê dasê kanê dasê”, sau khi đã làm cho A không kháng cự được, em đã bắt A đưa ra và cướp đoạt của A một số tiền mặt là 30000 yên”.

6 Ví dụ về tội giết người (trường hợp 1)

“Ngày 12 tháng 7 năm _____, vào khoảng 10 giờ 30 phút tối, tại phòng số 1 của Heiwa Jutaku, địa chỉ số 10-5, _____cho, 3 chome, Quận _____, Tokyo, vì mệt mỏi trong việc nuôi nấng con trai đầu của em là A (lúc đó mới sinh được 1 tháng) và bi quan về tương lai, em quyết chí giết A nên đã dùng khăn lau có sẵn siết cổ A, làm A ngạt thở chết, và sát hại A.”

7 Ví dụ về tội giết người (trường hợp 2)

“Ngày 31 tháng 1 năm _____, vào khoảng 10 giờ 30 phút tối, trên con đường trước số 3-4, _____cho, 6 chome, Quận _____, Tokyo, em đã bị A (lúc đó 19 tuổi) kiếm có gây sự là em đã đụng vào người A, và đột nhiên bị A hành hung như đá mấy lần vào phần bụng v.v... Lập tức với ý giết người, em đâm mấy lần vào phần ngực phải của A bằng con dao (lưỡi dài khoảng 15 centimet) mang theo, làm A bị thương ở phần ngực phải, không lâu sau vì vết đâm đó chảy máu nhiều A đã chết ngay tại chỗ đó, và em đã sát hại A.”

8 Ví dụ về tội vi phạm Luật kiểm soát chất kích thích

“Ngày 21 tháng 10 năm _____, vào khoảng 10 giờ 30 phút tối, tại phòng số 2 của Heiwa Jutaku, địa chỉ số 2-8, _____cho, 1 chome, Quận _____, Tokyo, mặc dù không được luật pháp cho phép, em đã tiêm vào người mình dung dịch nước có chứa một lượng nhỏ loại muối Phenylmenthyl aminopropane, như vậy

射し、覚せい剤を使用したものです。」

9 毒物及び劇物取締法違反罪の例

「君は、平成○年5月12日午後10時30分頃、東京都○○区○○町2丁目3番5号先路上において、興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する劇物で、政令で定められたトルエンを、みだりに吸入したものです。」

10 過失運転致傷罪の例

「君は、平成○年10月12日午後3時35分頃、東京都○○区○○町3丁目7番8号先路上において、普通乗用自動車を運転して○○区○○町方面から○○区○○町方面に向かい、時速約80キロメートルの速度で進行中、その場所の手前は左方にカーブして前方の見通しが困難であったので、あらかじめ減速し安全に走行できるようにハンドル、ブレーキなどを的確に操作して進行すべき運転者としての注意義務があったのに、これを怠り、先程の速度のまま的確なハンドル操作をせずに進行した過失により、自分の自動車を対向車線に進入させ、対向して進行してきたA（当時21歳）運転の普通乗用自動車の前部に自分の自動車の右前部を衝突させ、Aに全治約2か月間を要する右大腿骨骨折などの傷害を負わせたものです。」

11 道路交通法違反（無免許運転）の例

「君は、公安委員会の運転免許を受けないで、平成○年10月5日午後10時30分頃、東京都○○区○○町5丁目9番5号○○町交差点付近路上において、自動二輪車を運転したものです。」

12 道路交通法違反（速度違反）の例

「君は、平成○年2月13日午後10時30分頃、公安委員会が道路標識によって最高速度を時速40キロメートルと定めた東京都○○区○○町2丁目5番7号付近道路において、その最高速度を超える時速80キロメートルで普通乗用自動車を運転したものです。」

13 売春防止法違反の例

em đã sử dụng chất kích thích.”

9 Ví dụ về tội vi phạm Luật kiểm soát chất độc và chất có hại

“Ngày 12 tháng 5 năm _____, vào khoảng 10 giờ 30 phút tối, trên con đường trước số 3-5, _____ cho, 2 chome, Quận _____, Tokyo, mặc dù không được phép, em đã hít Toluene, một chất được quy định trong nghị định của Chính phủ là chất gây hại có tác dụng gây hưng phấn, ảo giác và mê man.”

10 Ví dụ về tội gây thương tích do lái xe bất cẩn

“Ngày 12 tháng 10 năm 20..., khoảng 3 giờ 35 phút chiều, trên con đường trước số 7-8, _____ cho, 3 chome, Quận _____, Tokyo, em đang lái ô tô loại thông thường từ _____ cho, Quận _____ hướng về _____ cho Quận _____ với tốc độ khoảng 80 cây số/giờ. Phía trước địa điểm đó có chỗ cong ngoặt về bên trái rất khó nhìn được phía trước, đáng lẽ với nghĩa vụ chú ý của người lái xe, em phải giảm tốc độ từ trước và điều khiển tay lái, phanh v.v... chính xác để có thể chạy xe một cách an toàn. Tuy nhiên em đã xao lãng điều này, vẫn giữ tốc độ trên và do bất cẩn em chạy xe không điều khiển được tay lái một cách chính xác, làm cho xe của mình lấn vào phần đường xe ngược chiều và đâm phần trước bên phải của xe mình vào phần trước chiếc xe loại thông thường do A (lúc đó 21 tuổi) cầm lái chạy từ hướng ngược chiều đến, làm A bị các thương tích như gãy xương đùi phải v.v..., tổng chữa trị mất khoảng 2 tháng.”

11 Ví dụ về tội vi phạm Luật giao thông đường bộ (lái xe không có bằng)

“Ngày 5 tháng 10 năm _____, vào khoảng 10 giờ 30 phút tối, trên đường gần nút giao _____ cho ở số 9-5, _____ cho 5 chome, Quận _____, Tokyo, em đã lái xe hai bánh có động cơ mà không có bằng lái xe của Ủy ban công an.”

12 Ví dụ về tội vi phạm Luật giao thông đường bộ (vi phạm tốc độ)

“Ngày 13 tháng 2 năm _____, vào khoảng 10 giờ 30 phút tối, trên con đường gần số 5-7, _____ cho, 2 chome, Quận _____, Tokyo, nơi có biển báo của Ủy ban công an quy định tốc độ tối đa 40 cây số/giờ, em đã lái một chiếc xe ô tô loại thông thường với tốc độ 80 cây số/giờ, vượt quá tốc độ tối đa đó.”

13 Ví dụ về tội vi phạm Luật phòng chống mại dâm

「君は、売春をする目的で、平成○年3月10日午後6時35分頃、東京都○○区○○町1丁目1番18号付近路上において、その場所を通行中のAに対し、「遊びませんか社長。ホテルいい3万円。」などと言って誘い、公衆の目に触れるような方法で人を売春の相手方となるよう勧誘したものです。」

14 出入国管理及び難民認定法違反の例

「君は、○○国国籍を有する外国人で、平成○年6月12日、○○国の政府が発行した旅券を持って、千葉県成田市にある新東京国際空港に上陸して日本の国に入ったものですが、在留期限は同年6月27日までであったのに、その日までに日本の国から出国せず、平成○年6月9日まで、東京都○○区○○町3丁目5番12号に住み、在留期間を経過して不法に日本の国に残留したものです。」

15 ぐ犯の例

「君は、○○国の養父母のもとで育ち、平成○年4月20日頃、出稼ぎのために来日し、その年の5月1日頃からストリップ劇場でダンサーとして働くようになりました。その後、同じような劇場数か所を転々とし、現在は、東京都○○区○○町2丁目3番8号所在の、暴力団○○組幹部で覚せい剤取締法違反の前科、前歴を有するA方のアパートに泊まり、A及びその仲間と共に無為徒食の生活を送っていました。そして、この間、君は、数十名の劇場の客や複数の暴力団組員と性的関係を持って小遣いをもらうなど、いかがわしい場所に入りするとともに、犯罪性のある人と交際しています。君の性格、環境に照らし、将来、売春防止法違反あるいは覚せい剤取締法違反の罪を犯すおそれがあるというのが事件の内容です。」

第5 決定などの告知及びその説明

1 保護観察決定などの告知及びその説明

(1) 保護観察決定の告知及びその説明

“Với mục đích mai dâm, ngày 10 tháng 3 năm _____, vào khoảng 6 giờ 35 phút chiều, trên con đường gần số 1-18, _____ cho, 1 chome, Quận _____, Tokyo, em đã rủ rê A, người đang đi qua địa điểm đó, nói rằng “Asobimasenka, shachou? Hoteru ii, san man yen”, em đã mời mọc người mua dâm một cách lộ liễu.”

14 Ví dụ về tội vi phạm Luật quản lý xuất nhập cảnh và công nhận người tị nạn

“Em là người nước ngoài mang quốc tịch của nước _____. Vào ngày 12 tháng 6 năm _____, em mang hộ chiếu do chính phủ nước _____ cấp và vào Nhật Bản qua Sân bay quốc tế mới Tokyo ở thành phố Narita, tỉnh Chiba. Mặc dù thời hạn lưu trú của em chỉ đến ngày 27 tháng 6 cùng năm, nhưng em đã không rời Nhật Bản trước ngày đó mà vẫn cư trú tại số nhà 5-12, _____ cho, 3 chomei, Quận _____, Tokyo cho đến ngày 9 tháng 6 năm _____. Em đã ở lại Nhật Bản một cách bất hợp pháp vượt quá thời hạn lưu trú.”

15 Ví dụ về tiền phạm pháp

“Em đã được cha mẹ nuôi của em nuôi đến lớn tại nước _____, vào khoảng ngày 20 tháng 4 năm _____, em đã đến Nhật Bản để tìm việc làm. Từ khoảng ngày 1 tháng 5 năm đó, em bắt đầu làm vũ nữ tại một vũ trường thoát y, sau đó em đã chuyển qua một vài vũ trường cùng loại và hiện nay em đang trú tại căn hộ của A, ở số 3-8 _____ cho, 2 chome, Quận _____, Tokyo. A là một trong những tên cầm đầu băng nhóm lưu manh có tên là _____ gumi và có tiền án, tiền sự vi phạm Luật kiểm soát chất kích thích. Em đã sống cuộc sống ăn không ngồi rồi cùng với A và đồng bọn. Cũng trong khoảng thời gian này, em có quan hệ tình dục với vài chục khách hàng của vũ trường và một số thành viên trong băng nhóm lưu manh để lấy tiền tiêu vặt v.v.... Cùng với việc hay lui tới những nơi không đứng đắn, em còn giao thiệp với những người có khả năng phạm tội. Xét đến tính cách và hoàn cảnh của em, trong tương lai em có thể vi phạm Luật phòng chống mai dâm hoặc Luật kiểm soát chất kích thích.”

V. Thông báo và giải thích các quyết định v.v...

1 Thông báo và giải thích về quyết định giám hộ quan sát v.v...

(1) Thông báo và giải thích về quyết định giám hộ quan sát

君を〇〇保護観察所の保護観察に付します。

保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官や保護司の指導を受けることとなります。

(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明

君を交通保護観察に付します。ただし、保護観察所に対しては、短い期間で処遇が終わるようという勧告を付けておくこととします。

交通保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官による指導を受けるほか、交通に関する講習を受けることとなります。

2 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明

君を児童自立支援施設（児童養護施設）に送致します。

君は児童自立支援施設（児童養護施設）に入所し、施設の職員から生活指導などを受けることとなります。

3 少年院送致決定などの告知及びその説明

(1) 少年院送致決定の告知及びその説明

君を第〇種少年院に送致します。

君は、少年院に収容され、生活指導などの矯正教育を受けることとなります。

(2) 処遇勧告の告知及びその説明

ア 短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

イ 特別短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、特に短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

また、できる限り日課の一部を君に計画させ、実施させることなど開放的な教育を受けることができるよう求める勧告も付けておくこととします。

4 不処分決定の告知

Tòa quyết định em sẽ chịu sự giám hộ quan sát của Sở giám hộ quan sát

_____.

Trong giám hộ quan sát, em sẽ sống cuộc sống bình thường trong xã hội nhưng chịu sự chỉ đạo hướng dẫn của nhân viên giám hộ quan sát hoặc trợ lý nhân viên giám hộ quan sát.

- (2) Thông báo và giải thích về khuyến cáo xử lý của giám hộ quan sát giao thông ngắn hạn

Tòa quyết định em sẽ chịu sự giám hộ quan sát giao thông. Tuy nhiên đối với Sở giám hộ quan sát thì Tòa sẽ khuyến cáo là kết thúc xử lý trong thời gian ngắn.

Trong giám hộ quan sát giao thông, em sẽ sống cuộc sống bình thường trong xã hội nhưng phải chịu sự chỉ đạo hướng dẫn của nhân viên giám hộ quan sát, đồng thời phải tham dự khóa học về giao thông.

- 2 Thông báo và giải thích về quyết định gửi đến Cơ sở hỗ trợ trẻ em tự lập hoặc Cơ sở giáo dục trẻ em

Tòa quyết định sẽ gửi em đến Cơ sở hỗ trợ trẻ em tự lập (Cơ sở giáo dục trẻ em)

Em sẽ vào Cơ sở hỗ trợ trẻ em tự lập (Cơ sở giáo dục trẻ em) và chịu sự chỉ đạo hướng dẫn trong sinh hoạt v.v... của các nhân viên tại cơ sở.

- 3 Thông báo và giải thích về quyết định gửi đến Trường cải tạo thiếu niên v.v...

- (1) Thông báo và giải thích về quyết định gửi đến Trường cải tạo thiếu niên

Tòa quyết định sẽ gửi em đến Trường cải tạo thiếu niên loại _____.

Em sẽ bị giữ tại Trường cải tạo thiếu niên và chịu sự giáo dục cải tạo như chỉ đạo hướng dẫn sinh hoạt v.v...

- (2) Thông báo và giải thích về khuyến cáo xử lý

- a. Giải thích về khuyến cáo xử lý ngắn hạn

Đối với Trường cải tạo thiếu niên, Tòa sẽ khuyến cáo xử lý trong đó coi việc kết thúc xử lý trong thời gian ngắn là phù hợp.

- b. Giải thích về khuyến cáo xử lý ngắn hạn đặc biệt

Đối với Trường cải tạo thiếu niên, Tòa sẽ khuyến cáo xử lý trong đó coi việc kết thúc xử lý trong thời gian đặc biệt ngắn là phù hợp.

Ngoài ra Tòa cũng có khuyến cáo yêu cầu việc có thể cho học giáo dục có tính mở, như cho em lập kế hoạch và thực hiện một phần bài học hàng ngày trong phạm vi có thể v.v...

- 4 Thông báo quyết định không xử lý

君を保護処分につさないことにします。

5 知事又は児童相談所長への送致決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長（〇〇知事）に送致します。

6 検察官送致決定の告知

君の事件を〇〇地方検察庁の検察官に送致します。

7 強制的措置許可決定の告知

君の事件を〇〇児童相談所長に送致します。

児童相談所長が、君に対し、平成〇年〇月〇日から、〇年間に、通算〇〇日を限度として、君の自由を制限する強制的な措置をとることを許可することとします。

8 強制的措置不許可決定の告知

児童相談所長が君に対して君の自由を制限するような強制的な措置をとることは、許可しないこととしました。

9 試験観察決定などの告知及びその説明

君を家庭裁判所調査官〇〇の観察に付します。

試験観察は、君に対する最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を〇〇に預けて補導してもらいながら（家に帰って普通の社会生活をしながら）、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

君に対し、試験観察中に守るべき事柄として、①・・・、②・・・を指示します。

10 没取決定の告知

押収してある〇〇を没取します。

11 訴訟費用負担決定の告知

家庭裁判所に送致される前の国選弁護費用として要した訴訟費用〇〇万円は君に負担させることにします。

- Tòa quyết định sẽ không áp dụng xử lý giám hộ đối với em.
- 5 Thông báo quyết định chuyển vụ án cho Tỉnh trưởng hoặc Giám đốc Sở tư vấn trẻ em
- Tòa quyết định sẽ chuyển vụ án của em cho Giám đốc Sở tư vấn trẻ em _____ (hoặc Tỉnh trưởng Tỉnh _____).
- 6 Thông báo quyết định chuyển vụ án cho Công tố viên
- Tòa quyết định sẽ chuyển vụ án của em cho Công tố viên Viện công tố địa phương _____.
- 7 Thông báo quyết định cho phép áp dụng biện pháp mang tính cưỡng chế
- Tòa sẽ gửi vụ án của em đến Giám đốc Sở tư vấn trẻ em _____.
- Tòa quyết định cho phép Giám đốc Sở tư vấn trẻ em _____ áp dụng biện pháp mang tính cưỡng chế đối với em bằng cách hạn chế tự do của em trong _____ năm, kể từ ngày _____ tháng _____ năm _____, với giới hạn tổng cộng _____ ngày.
- 8 Thông báo quyết định không cho phép áp dụng biện pháp cưỡng chế
- Tòa quyết định không cho phép Giám đốc Sở tư vấn trẻ em áp dụng đối với em biện pháp mang tính cưỡng chế trong đó hạn chế tự do của em.
- 9 Thông báo và giải thích về quyết định quan sát thử
- Tòa quyết định em sẽ phải chịu sự quan sát của Điều tra viên của Tòa án gia đình tên là _____.
- Trong quan sát thử, trước khi quyết định xử lý cuối cùng đối với em, Tòa sẽ gửi em ở chỗ _____ để hướng dẫn em (hoặc cho em trở về nhà sống cuộc sống bình thường trong xã hội) trong một thời gian nhất định, và sẽ quan sát hành động cũng như tình hình sinh hoạt của em. Tòa sẽ xem quá trình đó và mở lại phiên xử để quyết định xử lý cuối cùng.
- Đối với em, Tòa chỉ thị em các việc ① _____, ② _____ là những việc phải tuân thủ trong quan sát thử.
- 10 Thông báo quyết định tịch thu
- Tòa quyết định sẽ tịch thu tang vật _____ đã bị thu giữ.
- 11 Thông báo quyết định gánh chịu phí tổn tố tụng
- Tòa quyết định em sẽ phải chịu chi phí tố tụng là _____ vạn Yên cần thiết cho chi phí luật sư do Nhà nước chọn trước khi em được gửi đến Tòa án gia đình.

12 戻し収容決定の告知

君を第○種少年院に戻して収容します。

13 収容継続決定の告知

君を平成○年○月○日まで第○種少年院に継続して収容します。

14 保護処分取消決定の告知

君に対する保護観察（児童自立支援施設送致，児童養護施設送致，少年院送致）
決定を取り消します。

15 施設送致決定の告知

〔前記 2（児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明）
及び 3（少年院送致決定などの告知及びその説明） 参照〕

- 12 Thông báo quyết định đưa trở lại
Tòa quyết định sẽ đưa em trở lại Trường cải tạo thiếu niên loại _____.
- 13 Thông báo quyết định tiếp tục giữ lại
Tòa quyết định tiếp tục giữ em ở Trường cải tạo thiếu niên loại _____ cho đến ngày _____ tháng _____ năm _____.
- 14 Thông báo quyết định bãi bỏ xử lý giám hộ
Tòa bãi bỏ quyết định giám hộ quan sát (gửi đến Cơ sở hỗ trợ trẻ em tự lập, gửi đến Cơ sở giáo dục trẻ em, gửi đến Trường cải tạo thiếu niên) đối với em.
- 15 Thông báo quyết định gửi đến Cơ sở
[Tham chiếu mục 2 (Thông báo và giải thích quyết định gửi đến Cơ sở hỗ trợ trẻ em tự lập hoặc Cơ sở giáo dục trẻ em) và mục 3 (Thông báo và giải thích quyết định gửi đến Trường cải tạo thiếu niên v.v...) trên đây].

第6 書式例

書式1 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について（ ）少年鑑別所へ送致されることになりました。少年に対しては、以後、原則として、次の手続で処分が決められます。
 - (1) 観護措置
少年鑑別所では、少年の身柄を確保し、併せて、少年の心身の鑑別を行います。ここでの収容期間は、通常、最大限4週間です。なお、場合によっては、最大限8週間まで更新されることがあります。
 - (2) 調査
(1)の鑑別と並行して、家庭裁判所調査官が少年に関する調査を行います。この調査の目的は、非行の原因、少年の性格や行動のみならず、家庭、学校、職場、友人関係などの環境等について調査し、少年に対して最も有効適切な処分は何かを明らかにすることです。
 - (3) 審判
(2)の調査が終わると、審判を開きます。審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。
審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めるときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - (1) 保護観察
通常の社会生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - (3) 少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - (4) 検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - (5) 不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - (6) 試験観察
(1)から(5)までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて指導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - (1) 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - (2) 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - (3) 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

VJ. Mẫu văn bản

Mẫu số 1: Gửi thiếu niên và những người giám hộ (dùng cho trường hợp tạm giữ)

Gửi thiếu niên và những người giám hộ

1. Về vụ án thiếu niên _____, lần này thiếu niên sẽ bị gửi đến Trạm giám định thiếu niên _____. Sau đó về nguyên tắc, xử lý đối với thiếu niên sẽ được quyết định theo các thủ tục sau:
 - (1) Biện pháp giám hộ giám sát
Trạm giám định thiếu niên sẽ tạm giữ thiếu niên để giám định về cơ thể và tinh thần. Thời gian tạm giữ thông thường tối đa là 4 tuần lễ. Tùy theo từng trường hợp có thể thay đổi đến tối đa là 8 tuần lễ.
 - (2) Điều tra
Song song với việc giám định ở phần (1) Điều tra viên của Tòa án gia đình sẽ điều tra về thiếu niên.
Mục đích của điều tra này là để tìm hiểu nguyên nhân hành vi phạm pháp, không những điều tra tính cách và hành vi của thiếu niên, mà còn điều tra về môi trường xung quanh thiếu niên như gia đình, trường học, nơi làm việc, quan hệ bạn bè v.v... nhằm làm rõ xử lý nào là thích hợp và hữu hiệu nhất với thiếu niên.
 - (3) Phiên xử
Khi điều tra ở phần (2) hoàn tất, Tòa sẽ mở phiên xử.
Phiên xử là một hình thức xét xử nhưng là phiên xử kín không công khai. Thiếu niên, người giám hộ (và người đi kèm nếu có) sẽ có mặt tại phiên xử (tùy trường hợp giáo viên của trường, trợ lý nhân viên giám hộ giám sát hoặc Công tố viên v.v... cũng sẽ có mặt tại phiên xử)
Tại phiên xử, Tòa sẽ xét xem thiếu niên có thực sự đã gây ra hành vi phạm pháp hay không, tính nết và môi trường xung quanh của thiếu niên có vấn đề gì hay không. Sau khi tham khảo kết quả điều tra của Điều tra viên của Tòa án gia đình, Thẩm phán sẽ quyết định xử lý đối với thiếu niên. Nếu thiếu niên thấy rằng những điều do Thẩm phán v.v... hỏi không đúng với sự thật hoặc không thể đồng ý, thì thiếu niên hãy nói ra. Ngoài ra thiếu niên cũng có thể đưa ra yêu cầu với Tòa nếu có nhân chứng hoặc có chứng cứ muốn Tòa tra xét (nếu Tòa thấy cần thì Tòa sẽ tra xét).
2. Xử lý của Tòa án gia đình gồm có các hình thức chủ yếu sau đây:
 - (1) Giám hộ giám sát
Là hình thức mà thiếu niên tiếp tục sống bình thường trong xã hội, nhưng phải chịu sự chỉ đạo và giám sát của nhân viên giám hộ giám sát hay trợ lý nhân viên này của Sở giám hộ giám sát, với mục đích giúp thiếu niên cải thiện, hoàn lương.
 - (2) Gửi đi Cơ sở hỗ trợ trẻ em tự lập, hoặc Cơ sở giáo dục trẻ em
Là hình thức thiếu niên được đưa vào các cơ sở nói trên để được săn sóc và chịu những chỉ đạo hoặc giáo dục cần thiết.
 - (3) Gửi đi Trường cải tạo thiếu niên
Là hình thức thiếu niên sẽ bị giữ ở Trường cải tạo thiếu niên để chịu sự giáo dục cải tạo.
 - (4) Chuyển giao cho Công tố viên
Là hình thức Tòa chuyển giao vụ án cho Công tố viên để thiếu niên chịu xét xử hình sự theo thủ tục giống như với người thành niên.
 - (5) Không xử lý
Là hình thức áp dụng khi Tòa thấy thiếu niên không có hành vi phạm pháp, hoặc có hành vi phạm pháp nhưng không đến mức bị xử lý.
 - (6) Giám sát thử
Là hình thức giám sát hành động, thành tích của thiếu niên trong một thời gian nhất định để quyết định một trong những hình thức xử lý cuối cùng từ (1) đến (5). Trong thời gian giám sát thử này, thiếu niên có thể được gửi đến một cơ sở tư nhân để được hưởng dẫn (ủy thác việc hướng dẫn diu dắt thiếu niên).
3. Thiếu niên và người giám hộ được hưởng những quyền sau đây
 - (1) Quyền lựa chọn người đi kèm
Thiếu niên và người giám hộ có thể lựa chọn người đi kèm. Người đi kèm là người hợp tác với Tòa án gia đình tại phiên xử, đồng thời đóng vai trò như người bào chữa trong vụ án hình sự. Tuy nhiên không nhất thiết phải là luật sư, mà người giám hộ hay những người bình thường khác nếu được phép của Tòa án cũng có thể trở thành người đi kèm.
 - (2) Quyền giữ im lặng
Thiếu niên không bắt buộc phải trả lời mọi câu hỏi của Thẩm phán hoặc của bất cứ ai tại phiên xử. Tuy nhiên vì Tòa sẽ tham khảo những điều thiếu niên trình bày để quyết định xử lý thích đáng, nên thiếu niên hãy trình bày thật chính xác những điều mình muốn nói.
 - (3) Quyền đệ đơn phản đối
Nếu có phản đối đối với quyết định (1) đến (3) của khoản 2 nói trên, thiếu niên, người đại diện theo luật hay người đi kèm có thể đệ đơn kháng án lên Tòa án cấp cao trong vòng 2 tuần lễ.
4. Ngoài những điều kể trên, nếu có điều gì không hiểu, hãy hỏi thư ký Tòa án hay Điều tra viên phụ trách vụ án này.

Ngày _____ tháng _____ năm _____

Tòa án gia đình _____ Chi nhánh _____

書式2 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（ ）保護事件について家庭裁判所で審判を受けることになりました。
審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。
裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めたときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - （1）保護観察
通常の世界生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - （2）児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - （3）少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - （4）検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - （5）不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - （6）試験観察
（1）から（5）までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて補導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - （1）付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - （2）黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - （3）不服申立書
2の（1）から（3）までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のほか、分からないことがあれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

Mẫu số 2: Gửi thiếu niên và những người giám hộ (dùng cho trường hợp cho tại ngoại)

Gửi thiếu niên và những người giám hộ

1. Về vụ án thiếu niên _____, lần này thiếu niên phải có mặt ở phiên xử của Tòa án gia đình.

Phiên xử là một hình thức xét xử nhưng là phiên xử kín không công khai. Thiếu niên, người giám hộ (và người đi kèm nếu có) sẽ có mặt tại phiên xử (tùy trường hợp giáo viên của trường, trợ lý nhân viên giám hộ giám sát hoặc Công tố viên v.v... cũng sẽ có mặt tại phiên xử)

Tại phiên xử, Tòa sẽ xét xem thiếu niên có thực sự đã gây ra hành vi phạm pháp hay không, tính nết và môi trường xung quanh của thiếu niên có vấn đề gì hay không. Sau khi tham khảo kết quả điều tra của Điều tra viên của Tòa án gia đình, Thẩm phán sẽ quyết định xử lý đối với thiếu niên.

Nếu thiếu niên thấy rằng những điều do Thẩm phán v.v... hỏi không đúng với sự thật hoặc không thể đồng ý, thì thiếu niên hãy nói ra. Ngoài ra thiếu niên cũng có thể đưa ra yêu cầu để Tòa xem xét nếu có nhân chứng hoặc có chứng cứ muốn Tòa tra xét (nếu Tòa thấy cần thì Tòa sẽ tra xét).

2. Xử lý của Tòa án gia đình gồm có các hình thức chủ yếu sau đây:

(1) Giám hộ giám sát

Là hình thức mà thiếu niên tiếp tục sống bình thường trong xã hội, nhưng phải chịu sự chỉ đạo và giám sát của nhân viên giám hộ giám sát hay trợ lý nhân viên này của Sở giám hộ giám sát, với mục đích giúp thiếu niên cải thiện, hoàn lương.

(2) Gửi đi Cơ sở hỗ trợ trẻ em tự lập, hoặc Cơ sở giáo dục trẻ em

Là hình thức thiếu niên được đưa vào các cơ sở nói trên để được săn sóc và chịu những chỉ đạo hoặc giáo dục cần thiết.

(3) Gửi đi Trường cải tạo thiếu niên

Là hình thức thiếu niên sẽ bị giữ ở Trường cải tạo thiếu niên để chịu sự giáo dục cải tạo.

(4) Chuyển giao cho Công tố viên

Là hình thức Tòa chuyển giao vụ án cho Công tố viên để thiếu niên chịu xét xử hình sự theo thủ tục giống như với người thành niên.

(5) Không xử lý

Là hình thức áp dụng khi Tòa thấy thiếu niên không có hành vi phạm pháp, hoặc có hành vi phạm pháp nhưng không đến mức bị xử lý.

(6) Giám sát thử

Là hình thức giám sát hành động, thành tích của thiếu niên trong một thời gian nhất định để quyết định một trong những hình thức xử lý cuối cùng từ (1) đến (5). Trong thời gian giám sát thử này, thiếu niên có thể được gửi đến một cơ sở tư nhân để được hướng dẫn (ủy thác việc hướng dẫn dìu dắt thiếu niên).

3. Thiếu niên và người giám hộ được hưởng những quyền sau đây:

(1) Quyền lựa chọn người đi kèm

Thiếu niên và người giám hộ có quyền lựa chọn người đi kèm. Người đi kèm là người hợp tác với Tòa án gia đình tại phiên xử, đồng thời vai trò như luật sư bào chữa. Tuy nhiên không nhất thiết phải là luật sư, mà người giám hộ hay bất cứ ai khác nếu được phép của Tòa án cũng được phép làm người đi kèm.

(2) Quyền giữ im lặng

Thiếu niên không bắt buộc phải trả lời mọi câu hỏi của Thẩm phán hoặc của bất cứ ai tại phiên xử. Tuy nhiên vì Tòa sẽ tham khảo những điều thiếu niên trình bày để quyết định xử lý thích đáng, thiếu niên trình bày thật chính xác những điều mình muốn nói.

(3) Quyền đệ đơn xin phản đối

Đối với quyết định (1) đến (3) của khoản 2 nói trên, thiếu niên, người đại diện theo pháp luật hay người đi kèm có thể đệ đơn kháng cáo lên Tòa trên trong vòng 2 tuần lễ kể từ ngày ra quyết định.

4. Ngoài những điều kể trên, nếu có điều gì không hiểu, hãy hỏi thư ký Tòa án hay Điều tra viên phụ trách vụ án này.

Ngày _____ tháng _____ năm _____

Tòa án gia đình _____ Chi nhánh _____

書式 3 審判期日通知書

平成 年 第 少年 第 号 保護事件	<div style="text-align: center; margin-bottom: 20px;"> <h2 style="margin: 0;">審判期日通知書</h2> </div> <p style="margin-left: 40px;">少年 <u> </u> 殿</p> <p style="margin-left: 40px;">保護者 <u> </u> 殿</p> <p style="margin-left: 40px;">上記少年に対する保護事件の審判が開かれることになりましたから、少年と保護者の方は一緒にこの書面を持って、</p> <p style="margin-left: 40px;">平成 年 月 日 午前 時 分 午後</p> <hr style="width: 50%; margin-left: 40px;"/> <p style="margin-left: 40px;">に当裁判所に出頭してください。</p> <p style="margin-left: 40px;">(注意) この期日に出頭できないときは、その理由を詳しく書いた書面を必ず下記裁判所書記官あて至急送ってください。</p> <p style="margin-left: 40px;">平成 年 月 日</p> <p style="margin-left: 40px;">家庭裁判所 裁判所書記官</p> <div style="text-align: right; margin-right: 40px;"> 電話 () (代表) 内線 番 </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">家庭裁判所</p>
(備考)	

Mẫu số 3: Thông báo ngày mở phiên xử

Năm _____ (thiếu niên) Số _____ Vụ án thiếu niên : _____

THÔNG BÁO NGÀY MỞ PHIÊN XỬ

Gửi thiếu niên: _____

Gửi người giám hộ: _____

Tòa sẽ mở phiên xử về vụ án thiếu niên đối với thiếu niên có tên ghi ở trên. Vậy yêu cầu thiếu niên và người giám hộ cùng mang theo thông báo này và có mặt tại phiên xử vào ngày ____ tháng ____ năm ____ lúc ____ giờ ____ phút ____ sáng/chiều.

Chú ý: Nếu không thể trình diện trong thời gian này, hãy gửi gấp văn bản có ghi rõ lý do đó cho thư ký Tòa án sau đây.

Ngày ____ tháng ____ năm ____

Tòa án gia đình _____

Thư ký Tòa án _____

(Chú thích)

Tòa án gia đình _____

Điện thoại:

Số máy lẻ:

書式 4 呼出状

平成 年 少年第 号

呼 出 状

少年 殿

保護者 殿

少年

年 月 日生

住居

上記少年に対する保護事件の審判を、きたる 月 日 午前 時行います
ので に出頭して下さい。

なお、正当な理由がないのにこの呼出しに応じないと同行状を発することがあります。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注意 1 当日は認印を持参し、この呼出状を当庁書記官室に差し出して下さい。
2 病气その他で出頭できないときは、必ず電話、手紙などで当庁書記官室に連絡して下さい。

Mẫu số 4: Lệnh triệu tập ra tòa

Năm_____ (thiếu niên) Số_____

LỆNH TRIỆU TẬP RA TÒA

Gửi thiếu niên: _____

Gửi người giám hộ: _____

Họ tên thiếu niên:

Ngày tháng năm sinh:

Địa chỉ:

Tòa sẽ mở phiên xử về vụ án thiếu niên đối với thiếu niên có tên ghi trên đây vào ngày ____ tháng ____ lúc ____ giờ ____ sáng/chiều.

Vậy yêu cầu đương sự phải trình diện tại _____.

Nếu đương sự vắng mặt mà không có lý do chính đáng, Tòa có thể ra lệnh áp giải.

Ngày ____ tháng ____ năm ____

Tòa án gia đình _____

Thẩm phán: _____

Chú ý 1. Khi đến tòa, đương sự cần mang theo con dấu và trình lệnh này cho văn phòng thư ký Tòa án.

Chú ý 2. Nếu đương sự không thể có mặt vì bệnh tật hay lý do khác, thì phải liên lạc với văn phòng thư ký Tòa án bằng điện thoại hoặc bằng thư từ.

書式 5 呼出状 (調査)

平成 年 第 号 少年 事件	<div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin-bottom: 20px;">呼 出 状</div> <p style="margin-left: 40px;">少年 _____ 殿</p> <p style="margin-left: 40px;">保護者 _____ 殿</p> <p style="margin-left: 40px;">少年の保護事件について調査しますので、少年と保護者は、</p> <p style="margin-left: 40px;">月 日 (曜) 午前 時 分 この呼出状を持って、</p> <p style="margin-left: 40px;">午後 _____</p> <p style="margin-left: 40px;">家庭裁判所 階 少年調査官室に出頭してください。</p> <p style="margin-left: 40px;">平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center; font-size: 18px; font-weight: bold; margin-top: 20px;">家庭裁判所</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">家庭裁判所調査官</p>
(備考)	<p>1 平成 年 月 警察署調べの件です。</p> <p>2 少年又は保護者が、病气、不在等でやむを得ず出頭できない場合は、その旨を担当調査官に連絡してください。</p> <p>3 当日、 _____ を必ず持参してください。</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">家庭裁判所 電 話 (_____) (代表) 内 線 _____ 番</p>

Mẫu số 5: Lệnh triệu tập ra Tòa (để điều tra)

Năm _____(thiếu niên) Số _____ Vụ án _____

LỆNH TRIỆU TẬP RA TÒA

Gửi thiếu niên: _____

Gửi người giám hộ: _____

Chúng tôi sẽ điều tra về vụ án thiếu niên của thiếu niên có tên trên đây, vì vậy yêu cầu thiếu niên và người giám hộ cùng mang lệnh này đến trình diện tại Phòng Điều tra viên thiếu niên ở tầng _____ của Tòa án gia đình vào ngày _____ tháng _____ (thứ _____) lúc _____ giờ _____ phút sáng/chiều.

Ngày _____ tháng _____ năm _____

Tòa án gia đình _____

Điều tra viên Tòa án gia đình _____

Chú thích:

1. Vụ án này đã được Sở cảnh sát _____ điều tra vào ngày tháng _____ năm _____.
2. Trường hợp thiếu niên hoặc người giám hộ không thể có mặt vì bệnh tật hay vì lý do khác, hãy liên lạc với Điều tra viên phụ trách vụ án này.
3. Thiếu niên và người giám hộ nhớ mang theo _____ vào ngày trình diện.

Tòa án gia đình _____

Điện thoại _____

Số máy lẻ _____

書式 6 同行状（緊急）

平成 年 (少) 第 号	執行指揮印
<h2 style="margin: 0;">同行状（緊急）</h2>	
少年 _____ 年 _____ 月 _____ 日生	
住居 _____	
<p>上記少年の _____ 保護事件について、下記の理由により、少年を当裁判所へ同行する。</p> <p style="text-align: center;">有効期間 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 まで</p> <p style="text-align: center;">この令状は上記期間経過後はその執行に着手することができない。 この場合には本令状を裁判所へ返還しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日</p> <p style="text-align: center;">家庭裁判所 裁 判 官</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>(審判に付すべき事由) _____ 別紙記載のとおり (緊急同行状を発付する理由) _____ 別紙記載のとおり (適条) _____ 少年法 12 条 1 項 (参考)</p> <p>1 予想される少年の立ち回り先 _____</p> <p>2 本同行状は、 _____ 警察署宛に発付</p>	
執行した日時	平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分
執行した場所	
執行することができなかったときはその理由	_____
所 属 ・ 官 職	氏名 _____ 印
同行された日時 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 午前・午後 _____ 時 _____ 分	
裁判所書記官	

Mẫu số 6: Lệnh áp giải (khẩn cấp)

Năm _____ (Thiếu niên) Số _____		Đóng dấu đã thi hành
LỆNH ÁP GIẢI (KHẨN CẤP)		
Thiếu niên: _____ Ngày tháng năm sinh: _____ Địa chỉ: _____		
Liên quan đến vụ án thiếu niên _____, thiếu niên có tên nêu trên sẽ bị áp giải đến Tòa án gia đình vì lý do ghi dưới đây.		
Có hiệu lực đến ngày _____ tháng _____ năm _____. Nếu quá thời hạn nêu trên thì không thể thực hiện lệnh này. Trong trường hợp đó phải hoàn trả lại lệnh này cho Tòa án gia đình.		
Ngày _____ tháng _____ năm _____		
Tòa án gia đình _____		
Thẩm phán: _____		
Lý do phải tham dự phiên xử: xem giấy tờ kèm theo		
Lý do ban hành lệnh áp giải khẩn cấp: xem giấy tờ kèm theo		
Dựa trên điều khoản: Luật thiếu niên điều 12, khoản 1		
Tham khảo: 1. Nơi thiếu niên có tên trong lệnh áp giải này thường lui tới: 2. Lệnh áp giải này được gửi đến Sở cảnh sát _____		
Ngày giờ thi hành	_____ giờ _____ phút sáng/chiều ngày _____ tháng _____ năm _____	
Nơi thi hành		
Lý do không thể thi hành		
Cơ quan, chức vụ	Họ tên:	Đóng dấu
Ngày giờ thiếu niên nói trên bị áp giải: _____ giờ _____ phút sáng/chiều ngày _____ tháng _____ năm _____		
Thư ký Tòa án: _____		

書式 7 観護措置通知書

平成 年 少年第 号 保 護 事 件

観護措置通知書

殿

少年

年 月 日生

上記少年に対する保護事件について、審判を行うための必要上、少年は、平成 年 月 日 少年鑑別所に収容されたから通知する。

平成 年 月 日

家 庭 裁 判 所

裁 判 所 書 記 官

Mẫu số 7: Thông báo về biện pháp giám hộ giám sát

Năm _____ (thiếu niên) Số _____ Vụ án thiếu niên _____

THÔNG BÁO VỀ BIỆN PHÁP GIÁM HỘ
GIÁM SÁT

Gửi: _____

Họ tên thiếu niên: _____

Ngày tháng năm sinh: _____

Về vụ án thiếu niên liên quan đến thiếu niên có tên ghi trên, nay thông báo rằng thiếu niên đã bị tạm giữ tại Trạm giám định thiếu niên _____ vào ngày tháng _____ năm _____ vì cần thiết cho việc thực hiện phiên xử.

Ngày _____ tháng _____ năm _____

Tòa án gia đình _____

Thư ký tòa án _____

平成

年(少)第

号

付 添 人 選 任 届

家庭裁判所 御中

少年

に対する

保護事件について

弁護士

を付添人に選任いたしましたから連署の上お

届けいたします。

平成 年 月 日

選任者(少年保護者)

付添人住所

付 添 人

(注) 選任者()内は該当するものに○印をつける。

Mẫu số 8: Thông báo về việc lựa chọn người đi kèm

Năm_____ (thiếu niên) Số_____

THÔNG BÁO VỀ VIỆC LỰA CHỌN
NGƯỜI ĐI KÈM

Kính gửi: Tòa án gia đình_____

Chúng tôi, những người ký tên dưới đây, xin thông báo cho Tòa rõ rằng chúng tôi đã chọn luật sư_____ làm người đi kèm cho thiếu niên_____ trong vụ án thiếu niên _____.

Ngày_____ tháng_____ năm_____

Người lựa chọn (thiếu niên/người giám hộ)

Địa chỉ người đi kèm:_____

Họ tên người đi kèm:_____

Chú ý: khoanh tròn vào chỗ phù hợp trong ngoặc ()

書式 9 付添人選任に関する通知及び照会

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する通知及び照会

少年 殿

保護事件名

あなたの事件では、慎重に手続きを進めるため、弁護士である付添人がいなければ審判できません。

あなたやあなたの家族が弁護士である付添人を選任しないときは、裁判所が弁護士である付添人を選任します。

そこで、同封した回答書に答えて書いて、 月 日までに 家庭裁判所に着くように送ってください。あなたが少年鑑別所にいるときは、鑑別所の先生に渡してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所 (担当者)

電話 内線 番

Mẫu số 9: Thông báo và hỏi ý kiến về việc lựa chọn người đi kèm

(Điều 22, số 3 khoản 1, theo luật)
(Điều 30, số 3 khoản 1, theo qui định)
Năm_____ (thiếu niên) Số_____

THÔNG BÁO VÀ HỎI Ý KIẾN VỀ VIỆC LỰA CHỌN NGƯỜI ĐI KÈM

Họ tên thiếu niên_____

Tên vụ án_____

Nhằm tiến hành phiên xử vụ án của em một cách thận trọng thì Tòa cần có sự tham gia của người đi kèm là luật sư của em.

Nếu em và những người trong gia đình không lựa chọn được người đi kèm là luật sư thì Tòa sẽ chỉ định người đi kèm là luật sư cho em.

Vì vậy yêu cầu em điền vào bản trả lời gửi kèm theo đây, sau đó gửi đến Tòa án gia đình_____, chậm nhất là ngày tháng_____. Nếu em đang ở Trại giam định thiếu niên thì đưa hãy giấy tờ này cho giáo viên của Trại.

Ngày_____ tháng_____ năm_____

Tòa án gia đình: (Người phụ trách:)

Điện thoại: (Số máy lẻ:)

書式 10 付添人選任に関する回答書

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する回答書

家庭裁判所 御中

保護事件について、次のとおり回答します。

※ レ印を付けてください。

- 私か私の家族が弁護士である付添人をつけます
付添人の名前は, (弁護士会) です。
(分かれば書いてください。)
- 裁判所で弁護士である付添人をつけてください。

平成 年 月 日

少年 印

Mẫu số 10: Bản trả lời về việc lựa chọn người đi kèm

(Điều 22, số 3 khoản 1, theo luật)

(Điều 30, số 3 khoản 1, theo qui định)

Năm_____ (thiếu niên) Số_____

BẢN TRẢ LỜI VỀ VIỆC LỰA CHỌN NGƯỜI ĐI KÈM

Kính gửi: Tòa án gia đình_____

Tôi xin trả lời như sau về việc liên quan đến vụ án thiếu niên.

*Đánh dấu V vào ô thích hợp.

Tôi, gia đình tôi quyết định lựa chọn người đi kèm là luật sư sau đây.

Họ tên người đi kèm_____ (Hội luật sư_____).
(Nếu biết thì ghi rõ tên Hội luật sư)

Xin nhờ Tòa án lựa chọn người đi kèm là luật sư cho tôi.

Ngày_____ tháng_____ năm_____

Thiếu niên:

Đóng dấu

決 定 通 知 書

少 年 少 年 法 第 〇 〇 号 殿

(保護者) 〇 〇 〇 〇 〇 〇 殿

平成 〇 〇 年 〇 月 〇 日

家庭裁判所

裁判所書記官

少年に対する平成 〇 〇 年 第 〇 〇 号 保護事件について
は、調査の結果、本日 裁判官の決定により少年法第 19 条 1 項を適用し、こ
の事件については審判を開始しないで事件を終わらせることになりました。

この決定は、少年自身の自覚により再非行のないことを期待して行われたものですから再
び過ちを犯さないよう心がけてください。

Mẫu số 11: Thông báo quyết định (quyết định kết thúc vụ án mà không mở phiên xử)

THÔNG BÁO QUYẾT ĐỊNH

Gửi thiếu niên: _____

Gửi người giám hộ: _____

Ngày _____ tháng _____ năm _____

Tòa án gia đình _____

Thư ký Tòa án _____

Về vụ án thiếu niên _____ năm _____ (thiếu niên) số _____, theo kết quả điều tra và quyết định hôm nay của Thẩm phán _____, áp dụng điều 19 khoản 1 trong Luật thiếu niên, Tòa quyết định kết thúc vụ án mà không mở phiên xử.

Quyết định này được ban hành với hy vọng rằng bản thân thiếu niên sẽ giác ngộ, không tái phạm hành vi sai lầm nữa. Vì vậy từ nay về sau, thiếu niên hãy cố gắng không được để tái phạm nữa.

平成 年少第 号

証人 召喚状

証人 _____ 殿

少年

上記少年に対する 保護事件について、あなたを証人としてお尋ねしますから、来る 月 日 午前 時 分に当裁判所少年審判廷（ 階）に出頭してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

裁判官

- 注 1 出頭の際は、印鑑を持参し、この召喚状を差し出してください。出頭したときは、旅費、日当を請求することができます。
- 2 正当な理由がないのに出頭しないときは、勾引されたり、科料又は罰金、もしくは拘留に処せられたりすることがあります。

Mẫu số 12: Giấy triệu tập nhân chứng

Năm _____ (thiếu niên) Số _____

GIẤY TRIỆU TẬP NHÂN CHỨNG

Gửi nhân chứng: _____

Thiếu niên: _____

Về vụ án thiếu niên _____ liên quan đến thiếu niên có tên ghi trên, Tòa cần hỏi ông/bà với tư cách là nhân chứng. Vậy yêu cầu ông/bà có mặt tại phòng xử thiếu niên của Tòa án gia đình (tầng _____) vào ngày _____ tháng năm _____ lúc _____ giờ _____ phút, sáng/chiều.

Ngày _____ tháng _____ năm _____

Tòa án gia đình _____

Thẩm phán: _____

- Chú ý 1. Khi đến tòa, đương sự cần mang theo con dấu và trình giấy này cho Tòa án. Đương sự có thể yêu cầu Tòa thanh toán chi phí đi lại và phụ cấp hàng ngày trong thời gian làm chứng tại Tòa.
- Chú ý 2. Nếu vắng mặt mà không có lý do chính đáng, đương sự có thể bị áp giải cưỡng chế, hoặc bị phạt tiền, hoặc có thể bị tạm giam.

書式 13 証人等整理票

家庭裁判所

証人等整理票		平成	年	月	日
氏名	印	事件番号	年少第	号	
年齢	年号を○で囲んでください。 昭和 年 月 日生 (年) 大正 明治	事件名			
職業		少年氏名			
住居		備考			該当するものを○で囲んでください。 証人 参考人 通訳人 鑑定人 その他 ()
旅費日当	いずれかを○で囲んでください。 請求する 請求しない				

(注) 1 出頭された方は、この整理票に記入の上、係事務官に提出してください。
2 この整理票は、旅費日当請求書の資料あるいは旅費日当の放棄書として使用しますので、正確に記入してください。

Mẫu số 13: Phiếu nhân chứng

Tòa án gia đình

PHIẾU NHÂN CHỨNG			
Ngày____tháng____năm____			
Họ tên	Đóng dấu	Vụ án số	Năm____(thiếu niên) Số____
Tuổi	Ngày tháng năm sinh: Ngày____tháng____năm	Tên vụ án	
Nghề nghiệp		Họ tên thiếu niên	
Địa chỉ		Ghi chú	Khoanh tròn O vào mục phù hợp: Nhân chứng Người được tham khảo như nhân chứng Người phiên dịch Giám định viên Khác ()
Chi phí đi lại và trợ cấp hàng ngày	Khoanh vào một trong hai mục sau: Yêu cầu trả chi phí. Không yêu cầu trả chi phí		

Chú ý 1. Khi đến trình diện tại Tòa, yêu cầu đương sự điền vào phiếu này và trình cho nhân viên hành chính của Tòa án.

Chú ý 2. Yêu cầu điền vào phiếu này thật chính xác vì đây sẽ là giấy thanh toán chi phí đi lại và phụ cấp, hoặc là giấy chứng nhận việc khước từ thanh toán chi phí đi lại và phụ cấp.

宣 誓 書

良^り心^{ょう}に^{しん}従^{したが}って、ほんとうの^{もう}ことを申^{もう}します。

知^しっていることをかくしたり、無^ないことを

申^{もう}したりなど、決^{けつ}して致^{いた}しません。

以^い上^{じょう}のとおり誓^{ちか}います。

しやうにん

証 人

Mẫu số 14: Giấy tuyên thệ

GIẤY TUYÊN THỆ

Tôi xin thề với lương tâm là sẽ nói sự thật, tuyệt đối không che giấu những việc tôi biết và nói những việc không có thật. Tôi xin thề.

Nhân chứng: _____

書式 15 通報の要請に関する照会

通報の要請に関する照会

あなたは、国民として領事関係に関
するウィーン条約第 36 項第 1 項 (b) の規定に基づき、拘禁された事実を
の領事機関に通報することを要請することが
できます。

要請するかどうかを回答書に記入してください。

なお、当該領事機関に対しては、我が国の法令に反しない限り、信書を発
することができます。

裁 判 所

回 答

通報することを 要請します。
 要請しません。

年 月 日

国 名

被拘禁者氏名

裁判所

御中

(注) 不用の文字を抹消すること。

Mẫu số 15: Thư hỏi về việc yêu cầu thông báo cho lãnh sự

Thư hỏi về việc yêu cầu thông báo cho lãnh sự

Đương sự là công dân của nước____. Thể theo điều 36 khoản 1 (b) của Công ước Viên về quan hệ lãnh sự, đương sự có thể yêu cầu Tòa thông báo cho cơ quan lãnh sự của_____ về việc bị giam giữ.

Đương sự có yêu cầu này hay không thì ghi vào thư trả lời dưới đây.

Đương sự có thể gửi thư đến cơ quan lãnh sự nói trên, nếu thư đó không vi phạm pháp luật của Nhật Bản.

Tòa án

Trả lời

Kính gửi: Tòa án _____

Tôi yêu cầu: 1. Thông báo
2. Không thông báo

Ngày____tháng____năm

Tên nước:_____

Tên đương sự bị giam giữ_____

(Chú ý): Xóa lựa chọn không dùng đến đi.

第4編 用語の対訳

第1 法律関係用語

[あ行]	[あ行]
アリバイ	Chứng cứ ngoại phạm
異議審判	Phiên xử phản đối
異議申立て	Phản đối
意見聴取	Lắng nghe ý kiến
意見陳述	Trình bày ý kiến
移送	Chuyển giao, di lý vụ án
移送決定	Quyết định chuyển giao, di lý
一時停止	Tạm hoãn
一事不再理の効力	Hiệu lực non bis in idem (không xét xử hai lần về cùng một tội phạm)
一般事件	Vụ án thông thường
一般遵守事項	Những hạng mục chung phải tuân thủ
一般短期処遇	Xử lý ngắn hạn thông thường
一般保護観察	Giám hộ giám sát thông thường
一般保護事件	Vụ án thiếu niên thông thường
居直り強盗	Ăn trộm giữa chừng bị phát giác và chuyển thành cướp của
違法収集証拠	Chứng cứ được thu thập một cách bất hợp pháp
違法性	Tính chất vi phạm pháp luật
違法性阻却事由	Lý do loại trừ tính chất vi phạm pháp luật
院外委嘱指導	Chỉ đạo ủy thác cho người tình nguyện (ngoài các cơ sở của nhà nước) việc giáo dục và chăm sóc một thiếu niên
因果関係	Quan hệ nhân quả
淫行	Quan hệ tình dục bất hợp pháp
引致	Áp giải, dẫn giải
引致状	Lệnh áp giải/dẫn giải
インテーク	Phòng vấn tiếp xúc lần đầu
インテーク基準	Tiêu chuẩn phòng vấn tiếp xúc lần đầu
営利の目的	Mục đích kiếm lời
閲覧	Xem kỹ, đọc kỹ

援助	Trợ giúp
押印	Đóng dấu
押収	Thu giữ
押収物	Vật bị thu giữ
[か行]	[か行]
蓋然的心証	Niềm tin nội tâm rằng có thể
回避	Rút lui, thoái thác
回付	Chuyển giao, gửi (tài liệu, hồ sơ v.v...)
開放的な処遇	Xử lý có tính mở
確信の程度の心証	Niềm tin nội tâm rằng chắc chắn đúng
確信犯	Phạm tội do cuồng tín (về ý thức hệ, chính trị, tôn giáo v.v...)
覚せい剤	Chất kích thích
過失	Bất cẩn, cẩu thả, không chú ý, sơ suất
過失犯	Phạm tội do bất cẩn, do cẩu thả, do sơ suất
過剰避難	Tránh né, lánh nạn quá mức cần thiết
過剰防衛	Phòng vệ quá mức cần thiết
学校照会	Yêu cầu nhà trường cho biết thông tin
学校照会書	Thư yêu cầu nhà trường cho biết thông tin
仮釈放	Tạm tha, tạm thả
仮収容	Tạm giam giữ, tạm giữ
仮退院	Tạm rời Trung tâm/trường cải tạo thiếu niên
簡易送致	Chuyển giao rút gọn/tóm tắt (vụ án)
簡易の呼出	Lệnh triệu tập rút gọn
管轄	Thẩm quyền, khu quản hạt
環境調整	Thay đổi môi trường, hoàn cảnh
環境調整の措置	Biện pháp liên quan đến việc thay đổi môi trường, hoàn cảnh
環境調整命令	Lệnh bắt buộc thay đổi hoàn cảnh
勧告	Khuyến cáo
観護措置	Biện pháp Giám hộ giám sát
観護措置決定	Quyết định biện pháp Giám hộ giám sát
観護令状	Lệnh quyết định biện pháp Giám hộ giám sát
観察	Giám sát
鑑定	Giám định (bằng chứng)

鑑定人	Giám định viên
鑑定留置	Tạm giữ lại để giám định
還付	Trả lại, hoàn lại
鑑別結果	Kết quả giám định
鑑別結果通知書	Bản báo cáo kết quả giám định
期間	Thời gian, kỳ hạn
棄却	Bãi bỏ, bác bỏ
危険性の予測	Tiên lượng nguy cơ sẽ phạm tội của thiếu niên trong tương lai
期日	Ngày (mở phiên xử)
既遂	Đã phạm tội
偽造	Làm giả, giả mạo
既判力	Hiệu lực res judicata (hiệu lực phán quyết cuối cùng)
忌避	Khước từ, từ chối (Thẩm phán hay thư ký tòa án từ chối không làm nhiệm vụ để tránh sự bất công bằng)
却下	Bác bỏ, không chấp nhận
凶悪犯	Tội phạm có tính chất hung ác, tàn bạo
教科教育	Giáo dục học đường
教科指導	Chỉ đạo học đường
凶器	Hung khí
教唆	Xúi giục, xúi bẩy
矯正教育	Giáo dục cải tạo
強制送還	Trục xuất (buộc ra khỏi một nước nào đó)
強制退去	Trục xuất (buộc ra khỏi một nơi nào đó)
強制調査	Điều tra, lục soát có tính cưỡng chế
強制的措置	Biện pháp có tính cưỡng chế
強制的措置許可決定	Quyết định cho phép thực hiện biện pháp có tính cưỡng chế
強制的措置不許可決定	Quyết định không cho phép thực hiện biện pháp có tính cưỡng chế
共犯	Sự đồng phạm, đồng lõa
共犯者	Kẻ đồng phạm, đồng lõa
共謀	Đồng mưu
協力	Cộng tác, hợp tác

居所	Nơi cư trú, nơi ở
緊急同行状	Lệnh áp giải khẩn cấp
緊急避難	Tránh né, lánh nạn khẩn cấp
禁制品	Vật cấm chế tạo
国親	Quyền thay thế cha mẹ (Parents Patriae)
国親思想	Tư tưởng quyền thay thế cha mẹ (Parents Patriae)
◇犯	Nguy cơ dễ phạm tội trong tương lai
◇犯事由	Nguyên nhân, lý do dẫn đến nguy cơ dễ phạm tội trong tương lai
◇犯少年	Thiếu niên có nguy cơ dễ phạm tội trong tương lai
◇犯性	Tính chất, khuynh hướng dễ phạm tội trong tương lai
訓戒	Cảnh cáo, khiển trách
刑事事件	Vụ án hình sự
刑事施設	Trại giam hình sự, cơ sở giam giữ hình sự
刑事処分相当	Đáng để xử lý hình sự
刑事責任年齢	Tuổi chịu trách nhiệm hình sự
軽微事件	Vụ án nhỏ
刑法犯	Vi phạm Luật hình sự
決定	Quyết định
決定書	Văn bản quyết định
決定書の送達	Tổng đạt quyết định
決定の執行	Chấp hành quyết định
決定の通知	Thông báo quyết định
検察官関与決定	Quyết định để Công tố viên tham dự
検察官送致決定	Quyết định chuyển giao cho Công tố viên
検証	Điều tra hiện trường (xem xét nơi thực tế xảy ra vụ án)
故意	cố ý
合議体	Hội đồng xét xử
公共の福祉	Phúc lợi công cộng
拘禁	Giam giữ
後見人	Người giám hộ
抗告	Kháng cáo

抗告受理決定	Quyết định thụ lý đơn kháng cáo
抗告受理の申立て	Đệ đơn thụ lý đơn kháng cáo
抗告審	Phiên xử kháng cáo
抗告の趣意	Lý do kháng cáo
抗告の申立て	Đệ đơn kháng cáo
抗告の申立書	Đơn kháng cáo
抗告不受理決定	Quyết định không thụ lý đơn kháng cáo
更新	Làm mới, lập lại, kéo dài thời hạn
更新決定	Quyết định kéo dài thời hạn
更生	Sửa lại, cải tạo, phục hồi, khôi phục
更正	Tu sửa (tính nét), cải chính
更正決定	Quyết định cho tu sửa tính nét
公訴	Công tố, truy tố
公訴の提起	Tiến hành truy tố
交通事件	Vụ án về giao thông
交通切符	Biên bản vi phạm giao thông
交通切符制度	Chế độ sử dụng biên bản vi phạm giao thông
交通短期保護観察	Giám hộ giám sát ngắn hạn giao thông (đối với thiếu niên vi phạm giao thông)
交通反則通告制度	Chế độ thông báo việc vi phạm giao thông
交通保護観察	Giám hộ giám sát giao thông (đối với thiếu niên vi phạm giao thông)
勾留	Tạm giam
勾留状	Lệnh tạm giam
勾留に代わる観護措置	Biện pháp giám hộ thay cho việc tạm giam
勾留理由開示	Công bố lý do tạm giam
国籍	Quốc tịch
国選付添人	Người đi kèm do tòa chỉ định
国選弁護人	Luật sư, người biện hộ do tòa chỉ định
告知	Thông cáo, thông báo
告知調書	Biên bản thông cáo, thông báo
国法上の裁判所	Tòa án được thành lập theo pháp luật quốc gia
国家賠償	Nhà nước bồi thường
個別処遇の原則	Nguyên tắc xử lý riêng biệt từng người

[さ行]

在院者

再抗告

再審

在宅鑑別

裁判官の回避

裁判権

裁判長

酒酔い

差戻し

差戻後の審判

参考人

事案軽微

死刑

試験観察

試験観察決定

事件記録

事件の再起

事件の調査

事後審

事実審理の結果

自首

施設送致申請

施設送致申請事件

私選付添人

執行

執行機関

執行指揮

執行指揮書

執行のための同行状

執行の停止

指導監督

児童自立支援施設送致決定

[さ行]

Người đang ở trung tâm/trường cải tạo

Tái kháng cáo

Tái thẩm (một vụ án)

Giám định thiếu niên tại nhà

Sự khước từ của thẩm phán

Quyền tài phán (quyền xét xử)

Chủ tịch hội đồng xét xử

Say rượu

Trả vụ án về tòa cấp dưới

Phiên xử vụ án sau khi trả vụ án về tòa cấp dưới

Người được tham khảo như nhân chứng

Vụ án tội nhẹ, không quan trọng

Tử hình

Giám sát thử

Quyết định biện pháp giám sát thử

Hồ sơ vụ án

Tái diễn vụ án

Điều tra vụ án

Thẩm tra sau

Kết quả thẩm tra sau

Tự thú

Đề nghị gửi đến trung tâm, cơ sở

Vụ án thuộc diện đề nghị gửi đến trung tâm, cơ sở

Người sẵn sóc do đương sự tự chọn

Việc thi hành, chấp hành

Cơ quan thi hành

Lệnh thi hành

Giấy ra lệnh thi hành

Lệnh áp giải để thi hành

Đình chỉ việc thi hành

Chỉ đạo và giám sát

Quyết định gửi đi Trung tâm/cơ sở hỗ trợ trẻ em tự lập

児童相談所長への送致決定	Quyết định chuyển giao vụ án cho Giám đốc Sở tư vấn trẻ em
児童養護施設送致決定	Quyết định gửi đi Trung tâm/cơ sở giáo dục trẻ em
自白	Tự khai, tự thú nhận
司法	Tư pháp
司法的機能	Chức năng tư pháp
社会記録	Hồ sơ xã hội
社会貢献活動	Hoạt động đóng góp cho xã hội
社会資源	Tài nguyên xã hội
社会適応性	Tính thích ứng với xã hội
社会生活	Đời sống xã hội
社会内処遇	Xử lý cho phép sống bình thường trong xã hội
社会調査	Điều tra xã hội
社会防衛	Bảo vệ xã hội
社会防衛思想	Tư tưởng bảo vệ xã hội
終局処分	Xử lý cuối cùng
住居	Nơi cư trú
住所	Địa chỉ
自由心証主義	Nguyên tắc thẩm phán không thiên vị bằng chứng
重大な事実誤認	Nhầm lẫn nghiêm trọng về tình tiết
集団講習	Học tập trung, học theo nhóm
集団処遇	Xử lý theo nhóm
収容区分	Phân loại cách giam giữ
収容継続	Tiếp tục giam giữ
収容継続決定	Quyết định tiếp tục giam giữ
収容継続申請	Xin tiếp tục giam giữ
収容継続申請事件	Vụ án xin tiếp tục giam giữ
受命裁判官	Thẩm phán thụ mệnh
準抗告	Như kháng cáo (tương đương kháng cáo)
遵守事項	Những hạng mục phải tuân thủ
遵守事項違反	Vi phạm những hạng mục phải tuân thủ
準少年保護事件	Vụ án như (tương đương) thiếu niên phạm pháp

証言	Lời chứng
証拠	Chứng cứ, bằng chứng
証拠調べ	Điều tra chứng cứ, xem xét chứng cứ
証拠法則	Nguyên tắc về chứng cứ
小舎制	Chế độ đưa một số ít thiếu niên phạm pháp vào ký túc xá quy mô nhỏ
証人	Nhân chứng
証人尋問	Thẩm vấn, chất vấn nhân chứng
証人尋問権	Quyền chất vấn nhân chứng
証人等の費用	Chi phí cho người làm chứng v.v...
少年	Thiếu niên
少年院送致	Gửi đến trung tâm/trường cải tạo thiếu niên
少年院送致決定	Quyết định gửi đến trung tâm/trường cải tạo thiếu niên
少年鑑別所収容の一時継続	Tạm thời tiếp tục giữ tại Trại giám định thiếu niên
少年審判	Phiên xử thiếu niên
少年審判手続	Thủ tục của phiên xử thiếu niên
少年調査記録	Hồ sơ điều tra hoàn cảnh thiếu niên
少年調査票	Phiếu điều tra hoàn cảnh thiếu niên
少年の刑事事件	Vụ án hình sự của thiếu niên
少年の健全な育成	Nuôi dạy thiếu niên một cách lành mạnh (về cả thể chất và tâm hồn)
少年の保護事件	Vụ án của thiếu niên (vị thành niên phạm pháp)
少年非行	Hành vi phạm pháp của thiếu niên
少年保護事件	Vụ án thiếu niên (vị thành niên phạm pháp)
少年補償	Việc bồi thường cho thiếu niên
少年補償事件	Vụ án bồi thường cho thiếu niên
抄本	Bản sao (trích một phần của bản chính)
証明書	Chứng thư
処遇勧告	Khuyến cáo về xử lý
職業指導	Hướng dẫn, chỉ đạo về nghề nghiệp
職業補導	Đào tạo (hướng dẫn và huấn luyện) về nghề nghiệp
職権主義	Nguyên tắc ex officio (nguyên tắc quyền)

職権主義的審問構造	thẩm vấn xét xử của tòa) Cơ chế thẩm tra theo nguyên tắc quyền thẩm vấn xét xử của tòa
触法少年	Thiếu niên phạm pháp dưới 14 tuổi
所在不明	Không rõ tung tích
除斥	Miễn tư cách
処断刑	Hình phạt có thể tăng nặng hoặc giảm nhẹ tùy trường hợp
処分の著しい不当	Xử lý không thích đáng
親権	Quyền của cha mẹ
親権行使	Sử dụng quyền của cha mẹ
親権尊重	Tôn trọng quyền của cha mẹ
人権尊重	Tôn trọng nhân quyền
人権保護	Bảo vệ nhân quyền
人権保障	Bảo đảm nhân quyền
身上調査表	Bản điều tra thân thể
心身鑑別	Giám định về cơ thể và tinh thần
身体の自由の拘束	Quản thúc được tự do thân thể
人定質問	Chất vấn để xác nhận bản thân đương sự
審判	Phiên xử
審判開始決定	Quyết định mở phiên xử
審判権	Quyền thẩm phán, quyền xét xử
審判不開始決定	Quyết định không mở phiên xử
審判期日	Ngày mở phiên xử
審判期日通知書	Thư thông báo ngày mở phiên xử
審判結果通知	Thông báo kết quả phiên xử
審判条件	Điều kiện của phiên xử
審判状況説明	Giải thích tình hình phiên xử
審判調書	Hồ sơ, biên bản phiên xử
審判廷	Phòng xử
審判に付すべき少年	Thiếu niên cần phải đưa ra phiên xử
審判の併合	Gộp nhiều vụ án vào một phiên xử (nếu bị cáo cùng là một người)
審判非公開	Phiên xử kín
審判傍聴	Dự thính phiên xử
性格の矯正	Sửa đổi, cải tạo tính nết

生活指導	Hướng dẫn, chỉ đạo cách sinh hoạt
成人	Người lớn, người thành niên
正当防衛	Phòng vệ chính đáng
正本	Bản chính
責任	Trách nhiệm
責任能力	Năng lực có thể chịu trách nhiệm
接見交通権	Quyền gặp mặt người đang bị giam giữ, quyền thăm nuôi
接見の禁止	Cấm gặp mặt người đang bị giam giữ
接見の制限	Hạn chế gặp gỡ với người đang bị giam giữ
宣誓	Sự tuyên thệ
専門的知識の活用	Tận dụng kiến thức chuyên môn
全件送致主義	Chế độ theo đó cảnh sát hay công tố chuyển giao tất cả vụ án thiếu niên cho Tòa án gia đình
捜査	Tra xét, điều tra
捜査機関	Cơ quan tra xét, điều tra
捜索	Lục soát, tìm tòi chứng cứ
送致	Gửi đến
訴訟法上の裁判所	Tòa án được thành lập theo cơ chế của Luật tố tụng
粗暴犯	Tội hành hung
損害	Tổn hại, thiệt hại
損害賠償	Bồi thường thiệt hại
[た行]	[た行]
体育指導	giáo dục thể chất
退院	Ra khỏi trung tâm/trường
逮捕	Bắt giam
知事への送致決定	Quyết định chuyển vụ án cho Tỉnh trưởng
中間少年	Thiếu niên tuổi từ 16 đến 17
長期の処遇	Xử lý dài hạn
調査	Điều tra
調査官	Điều tra viên
調査命令	Lệnh điều tra
調査報告書	Bản báo cáo kết quả điều tra

直送事件	Vụ án được cảnh sát chuyển trực tiếp cho Tòa án gia đình
陳述録取書	Hồ sơ ghi chép lời trần thuật, lời trình bày, lời nói
陳述録取調書	Hồ sơ ghi chép lời trần thuật, lời trình bày, lời nói
通行禁止	Cấm chạy qua, cấm thông qua
通行区分	Phân biệt đường xe
通告	Thông báo
通訳	Phiên dịch
通訳人	Người phiên dịch
付添人	Người đi kèm
付添人の選任	Việc chỉ định người đi kèm
連戻し	Dẫn (người bỏ trốn) trở về
連戻状	Lệnh dẫn trở về
適正手続	Thủ tục hợp pháp
伝聞証拠	Chứng cứ mà người khai không có mặt tại phiên xử
伝聞法則	Nguyên tắc cho phép nhìn nhận chứng cứ mà người khai không có mặt tại phiên xử
同行	Việc áp giải
同行状	Lệnh áp giải
動向視察	Thị sát tình hình của thiếu niên đang bị giáo dục cải tạo
謄写	Bản copy
謄本	Bản sao y có chứng thực
道路交通事件	Vụ án liên quan đến giao thông đường bộ
特別活動指導	Khởi động hoạt động đặc biệt
特別遵守事項	Những điều đặc biệt phải tuân theo
特別法犯	Vi phạm luật đặc biệt
[な行]	[な行]
任意調査	Điều tra có sự đồng ý của bị can
任意同行	Áp giải có sự đồng ý của bị can
年少少年	Nhóm thiếu niên nhỏ tuổi (14, 15 tuổi)
年長少年	Nhóm thiếu niên lớn tuổi (18, 19 tuổi)

年齢超過	Vượt quá tuổi, quá tuổi
[は行]	[は行]
犯罪	Việc phạm tội, tội ác
犯罪少年	Thiếu niên phạm tội
犯罪の嫌疑	Tình nghi phạm tội
反対尋問	Chất vấn phản biện
反対尋問権	Quyền chất vấn phản biện
被害者	Nạn nhân, người bị hại
被害者調査	Điều tra người bị hại
非行	Sự phạm pháp, hành vi phạm pháp, hành vi bất chính
非行事実	Sự việc của hành vi phạm pháp
非行事実存在の蓋然性	Khả năng cho rằng sự việc của hành vi phạm pháp tồn tại
非行事実の告知	Thông cáo, thông báo sự việc của hành vi phạm pháp
非行事実の認否	Sự thừa nhận hay không thừa nhận sự việc của hành vi phạm pháp
非行性	Khuynh hướng lặp lại hành vi phạm pháp
非行なし	Không can phạm, không chứng minh được rằng thiếu niên đã có hành vi phạm pháp
非常上告	Kháng án đặc biệt
否認	Phủ nhận, từ chối, khước từ
否認事件	Vụ án phủ nhận
秘密性	Tính bí mật
不告不理の原則	Nguyên tắc không tố cáo thì không xét xử
不処分	Không xử lý
不処分決定	Quyết định không xử lý
不定期刑	Hình phạt không định kỳ
不服申立て	Khiếu nại, đệ đơn phản đối
不利益変更禁止	Nguyên tắc không cho phép phán quyết hình phạt nặng hơn khi bị cáo kháng án
分類処遇	Xử lý theo giám định, phân loại
併合審判	Gộp nhiều vụ án vào một phiên xử (nếu cùng là một bị cáo)

弁解	Biện minh
弁解の聴取	Nghe biện minh
変更の申出	Đề đơn xin thay đổi, xin tu chính
弁護士	Luật sư
弁護人	Người biện hộ
保安処分	(đối với can phạm bị bệnh tâm thần) Xử lý bằng biện pháp trị liệu để ngừa sự tái phạm
報告	Báo cáo
法廷遵守事項	Những việc phải tuân thủ ở tòa án
法定代理人	Người đại diện theo luật
法的調査	Điều tra theo luật
法律記録	Hồ sơ pháp luật
保護観察	Giám hộ giám sát
保護者	Người giám hộ
保護処分	Xử lý bằng biện pháp giám hộ
保護処分取消決定	Quyết định bãi bỏ xử lý bằng biện pháp giám hộ
保護処分取消事件	Vụ án xin bãi bỏ xử lý bằng biện pháp giám hộ
保護処分の競合	Sự trùng lặp trong việc xử lý bằng biện pháp giám hộ
保護処分の取消し	Sự bãi bỏ xử lý bằng biện pháp giám hộ
教育的措置(保護的措置)	Biện pháp mang tính giáo dục (biện pháp mang tính giám hộ)
没取	Tịch thu
没取決定	Quyết định tịch thu
没取に係る物の返付	Hoàn trả lại vật bị tịch thu
補充捜査	Tra xét, điều tra bổ sung
補償の払渡し	Trả tiền bồi thường
補導委託	Ủy thác việc hướng dẫn, diu dắt thiếu niên
補導委託先	Người hoặc trung tâm/cơ sở được ủy thác để hướng dẫn, diu dắt thiếu niên
補導委託費	Chi phí để ủy thác việc hướng dẫn, diu dắt thiếu niên
補導援護	Hướng dẫn và trợ giúp, hỗ trợ
本籍照会	Tra hộ tịch gốc

本籍照会書
翻訳
翻訳人

Thư yêu cầu tra hộ tịch gốc
Biên dịch
Người biên dịch

[ま行]

身柄付送致

[ま行]

Chuyển giao một vụ án cho Tòa án gia đình
kèm theo nghi phạm

みなし勾留

Xem như là tạm giam, vụ án mà việc bị tạm
giữ ở Trại giám định thiếu niên được xem
như là việc tạm giam

無職の者

Người không có nghề nghiệp

無断外出

Đi ra ngoài không xin phép

面前告知

Thông cáo, thông báo trước mặt thiếu niên

申出

Sự yêu cầu

申出人

Người yêu cầu

黙秘権

Quyền giữ im lặng

黙秘権の告知

Thông cáo, thông báo về quyền giữ im lặng

戻し收容

Việc đưa trở lại giữ, giam giữ

戻し收容決定

Quyết định việc đưa trở lại giữ, giam giữ

戻し收容処分

Xử lý bằng cách đưa trở lại giữ, giam giữ

戻し收容申請事件

Vụ án yêu cầu đưa trở lại giữ, giam giữ

[や行]

[や行]

有職の者

Người có việc làm

有責性

Sự có tội, tính chất có tội

要保護性

Sự cần thiết phải giám hộ

余罪

Các tội khác, ngoài tội chính

余罪捜査

Điều tra, tra xét các tội khác, ngoài tội chính

呼出

Triệu tập đến tòa

呼出状

Lệnh triệu tập đến tòa

[ら行]

[ら行]

留置施設

Trại tạm giam

労役場留置

Việc giam giữ ở nơi phải lao động

第2 調査関係用語

[あ行]

家出

居心地

遺伝

姻族

[あ行]

Bỏ nhà ra đi

Sự thoải mái, dễ chịu

Di truyền

Quan hệ họ hàng do hôn nhân (nhà chồng, nhà vợ)

[か行]

カウンセリング

家族関係

家長

家庭内暴力

義務教育

虐待

血族

高等学校(高校)

[か行]

Tư vấn, việc tham khảo ý kiến

Quan hệ gia đình

Người chủ gia đình

Tình trạng bạo lực trong gia đình

Giáo dục bắt buộc

Ngược đãi

Huyết tộc, huyết thống

Trường phổ thông cấp ba, phổ thông trung học

行動傾向

Khuynh hướng hành động

公立

Công lập

危険ドラッグ(脱法ハーブ)

Ma túy nguy hiểm (cần sa tổng hợp)

[さ行]

しつけ

社会奉仕活動

[さ行]

Dạy dỗ

Hoạt động phục vụ xã hội, hoạt động phụng sự xã hội

照会書

Thư yêu cầu cung cấp thông tin

小学校

Trường tiểu học

上司

Cấp trên

職種

Loại nghề nghiệp

私立

Dân lập

信条

Lòng tin

親族

Họ hàng, người thân

心理テスト

Trắc nghiệm tâm lý

住込み

Sống, ở

生活史
生活費
成績
性的虐待
生理
専門学校
送金
相談相手

[た行]

退学
大学
怠休
短所
中学校
長所
通勤
手続
手取り
転居
転校
転職
動機
同棲
同僚
特技

[な行]

仲
肉体関係
入学

[は行]

配偶者
背景
壳春

Đời sống, cách sống, lối sống
Tiền sinh hoạt, sinh hoạt phí
Thành tích
Lạm dụng tình dục
Kinh nguyệt, hành kinh
Trường dạy nghề
Việc chuyển tiền
Người tư vấn, góp ý

[た行]

Việc thôi học
Đại học
Việc trốn học
Nhược điểm, điểm yếu
Trường phổ thông cấp 2, trung học cơ sở
Ưu điểm, điểm mạnh
Việc đi làm
Thủ tục
Tiền thực nhận
Chuyển chỗ ở
Chuyển trường
Chuyển nghề
Động cơ thúc đẩy
Việc ăn ở với nhau (như vợ chồng)
Bạn đồng liêu
Năng khiếu đặc biệt

[な行]

Quan hệ
Quan hệ xác thịt
Nhập học (vào một trường nào đó)

[は行]

Người hôn phối (vợ, chồng)
Bối cảnh
Mại dâm

父系	Phụ hệ
不純異性交遊	Sự chung chạ bừa bãi giữa nam và nữ
扶養	Nuôi dưỡng
扶養家族	Thân nhân được nuôi dưỡng, thân nhân phụ thuộc
保育所	Nhà trẻ
母系	Mẫu hệ
[ま行]	[ま行]
身元引受人	Người bảo lãnh
面接	Việc phỏng vấn, hỏi chuyện trực tiếp
[や行]	[や行]
役割	Chức năng, vai trò
幼少	Thời kỳ thơ ấu
幼稚園	Trường mẫu giáo, vườn trẻ
[ら行]	[ら行]
離婚	Ly dị, ly hôn
労働条件	Điều kiện lao động

第3 官庁等諸機関名

[あ行]

医務室

医務室技官

受付

[あ行]

Phòng y tế

Chuyên viên kỹ thuật phòng y tế

Lễ tân, thường trực

[か行]

海上保安庁

外務省

科学調査室

家庭裁判所

家庭裁判所支部

家庭裁判所調査官(調査官)

[か行]

Cục An ninh trên biển

Bộ Ngoại giao

Phòng điều tra khoa học

Tòa án gia đình

Chi nhánh của Tòa án gia đình

Điều tra viên của Tòa án gia đình (điều tra viên)

家庭裁判所調査官室

Văn phòng của Điều tra viên Tòa án gia đình

簡易裁判所

Tòa tiểu hình

矯正管区

Khu phụ trách việc giáo dục cải tạo

矯正管区長

Trưởng khu phụ trách việc giáo dục cải tạo

矯正局

Cục giáo dục cải tạo, Cục trừng trị

区

Quận (trong các thành phố lớn)

区検察庁

Văn phòng công tố viên của quận

警察

Cảnh sát

警察官

Cảnh sát viên

警察署

Sở cảnh sát

警察職員

Nhân viên cảnh sát

警察署の保護室

Phòng tạm giữ ở đồn cảnh sát

警察庁

Cơ quan cảnh sát quốc gia, Tổng cục cảnh sát quốc gia

警察庁次長

Phó tổng cục trưởng Tổng cục cảnh sát quốc gia

警察庁長官

Tổng cục trưởng Tổng cục cảnh sát quốc gia

警視

Sĩ quan cảnh sát 5 (tương đương Trưởng đồn cảnh sát vừa và nhỏ)

警視監

Sĩ quan cảnh sát 2 (tương đương Phó tổng cục trưởng Tổng cục cảnh sát quốc gia, Phó

	cục trưởng Cục cảnh sát Tokyo, Cục trưởng Cục cảnh sát vùng, Cục trưởng Cục cảnh sát tỉnh)
警視正	Sĩ quan cảnh sát 4 (tương đương Trưởng đồn cảnh sát lớn)
警視總監	Sĩ quan cảnh sát 1 (tương đương Cục trưởng Cục cảnh sát Tokyo)
警視庁	Cục cảnh sát Tokyo
警視長	Sĩ quan cảnh sát 3 (tương đương Cục trưởng Cục cảnh sát tỉnh)
警部	Sĩ quan cảnh sát 6 (tương đương chỉ huy đội cảnh sát)
警部補	Sĩ quan cảnh sát 7 (tương đương phó chỉ huy đội cảnh sát)
刑務官	Nhân viên nhà tù, trại giam
刑務所	Nhà tù, trại giam
刑務所長	Giám đốc trại giam
県	Tỉnh (của Nhật Bản)
県警察本部	Sở cảnh sát tỉnh
検察	Kiểm sát, công tố
検察官	Công tố viên, kiểm sát viên
検察事務官	Nhân viên phòng công tố, trợ lý công tố
検察庁	Viện công tố, viện kiểm sát
検事	Công tố
検事正	Tổng công tố Viện công tố địa phương
検事総長	Tổng công tố Viện công tố tối cao
検事長	Tổng công tố Viện công tố cấp cao
公使	Công sứ
厚生労働省	Bộ Y tế, Phúc lợi và Lao động
更正保護会	Hội bảo hộ giúp phạm nhân hoàn lương
更正保護婦人会	Hội bảo hộ giúp nữ phạm nhân hoàn lương
拘置所	Trại tạm giam
高等検察庁	Viện kiểm sát cấp cao
高等裁判所	Tòa án cấp cao
高等裁判所長官	Chánh án tòa cấp cao

[さ行]

最高検察庁
最高裁判所
最高裁判所長官
最高裁判所裁判官
裁判官
裁判所事務官
裁判所書記官
裁判長
市
次長検事
児童委員
児童自立支援施設
児童相談所
児童相談所長
児童福祉司
児童養護施設
司法警察員
司法警察職員
司法巡查
巡查

巡查長
巡查部長

少年院
少年鑑別所
少年刑務所
書記官室
人権擁護局
審判官
審判廷
税関

[た行]

第 1 種少年院

[さ行]

Viện công tố tối cao, viện kiểm sát tối cao
Tòa án tối cao
Chánh án tòa án tối cao
Thẩm phán tòa án tối cao
Thẩm phán
Nhân viên văn phòng của tòa án
Thư ký tòa án
Chủ tịch hội đồng xét xử
Thành phố, thị trấn
Viện Phó Viện công tố
Ủy viên phụ trách phúc lợi trẻ em
Trung tâm/cơ sở hỗ trợ trẻ em tự lập
Sở tư vấn trẻ em
Giám đốc Sở tư vấn trẻ em
Chuyên viên phụ trách phúc lợi trẻ em
Trung tâm/cơ sở giáo dục trẻ em
Cảnh sát viên tư pháp
Nhân viên thuộc cảnh sát tư pháp
Cảnh sát tư pháp
Sĩ quan cảnh sát 9 (cấp thấp nhất trong hệ thống cấp bậc cảnh sát của Nhật Bản)
Bậc danh dự của sĩ quan cảnh sát 9
Sĩ quan cảnh sát 8 (tương đương trường phòng cảnh sát)
Trung tâm/trường cải tạo thiếu niên
Trạm giám định thiếu niên
Trại giam hình sự dành riêng cho thiếu niên
Văn phòng thư ký
Cục bảo vệ nhân quyền
Thẩm phán
Phòng xử
Hải quan

[た行]

Trung tâm/trường cải tạo thiếu niên loại 1

大使	đại sứ
大使館	Đại sứ quán
第 3 種少年院	Trung tâm/trường cải tạo thiếu niên loại 3
第 2 種少年院	Trung tâm/trường cải tạo thiếu niên loại 2
第 4 種少年院	Trung tâm/trường cải tạo thiếu niên loại 4
知事(都道府県知事)	Chủ tịch tỉnh, thống đốc tỉnh
地方検察庁	Viện công tố/viện kiểm sát địa phương
地方検察庁支部	Chi nhánh Viện công tố/viện kiểm sát địa phương
地方更正保護委員会	Ủy ban bảo hộ địa phương giúp phạm nhân hoàn lương
地方裁判所	Tòa án địa phương
地方裁判所支部	Chi nhánh của tòa án địa phương
地方法務局	Sở tư pháp địa phương
中央更正保護審査会	Ủy ban trung ương thẩm tra bảo hộ phạm nhân hoàn lương
調査官(家庭裁判所調査官)	Điều tra viên (điều tra viên của Tòa án gia đình)
[な行]	[な行]
入国管理局	Cục quản lý nhập cảnh
入国管理事務所	Văn phòng quản lý nhập cảnh (quản lý người nước ngoài)
入国管理局出張所	Chi nhánh của cục quản lý nhập cảnh (quản lý người nước ngoài)
入国者収容所	Trung tâm tạm giữ người nhập cư trái phép
[は行]	[は行]
判事	Thẩm phán
判事補	Phụ thẩm
福祉事務所	Văn phòng phúc lợi
法務技官	Kỹ thuật viên pháp lý
法務教官	Chuyên viên giáo dục cải tạo pháp lý
法務省	Bộ Tư pháp
保護局	Cục giáo dục cải tạo
保護観察官	Nhân viên phụ trách Giám hộ giám sát

保護観察所
保護観察所長
保護区
保護司
補導委託先

[ら行]
領事
領事館

Cơ quan giám hộ giám sát
Giám đốc cơ quan giám hộ giám sát
Khu Giám hộ giám sát
Trợ lý nhân viên Giám hộ giám sát
Nơi nhận ủy thác việc hướng dẫn, dìu dắt
thiếu niên

[ら行]
Lãnh sự
Lãnh sự quán

第4 法令名

[あ行]

あへん法

安保条約

(日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び
安全保障条約)

医師法

意匠法

医療法

ウィーン条約

(領事関係に関するウィーン条約)

恩赦法

[か行]

外国為替及び外国貿易法

外国裁判所ノ囑託ニ因ル共助法

海上交通安全法

海上衝突予防法

覚せい剤取締法

家事事件手続規則

家事事件手続法

学校教育法

割賦販売法

火薬類取締法

関税定率法

関税法

警察官職務執行法

警察法

刑事訴訟規則

刑事訴訟費用等に関する法律

刑事訴訟法

刑事補償規則

刑事補償法

[あ行]

Luật á phiện

Hiệp ước an ninh Nhật - Mỹ (hiệp ước về
hợp tác tương hỗ và bảo đảm an ninh giữa
hai nước Nhật Bản và Mỹ)

Luật hành nghề bác sỹ

Luật bảo vệ kiểu mẫu

Luật điều trị y tế

Công ước Viên (Công ước Viên về quan hệ
lãnh sự)

Luật ân xá

[か行]

Luật hối đoái và ngoại thương

Luật hỗ trợ thẩm phán cho tòa án nước
ngoài

Luật an toàn giao thông trên biển

Luật đề phòng tai nạn giao thông trên biển

Luật kiểm soát các chất kích thích

Nguyên tắc thủ tục các vụ án gia đình

Luật thủ tục các vụ án gia đình

Luật giáo dục học đường

Luật bán trả góp

Luật kiểm soát các chất nổ

Luật quy định tỉ lệ thuế quan

Luật thuế quan

Luật chấp hành chức vụ của nhân viên cảnh
sát

Luật cảnh sát

Nguyên tắc tố tụng hình sự

Luật về chi phí tố tụng hình sự

Luật tố tụng hình sự

Nguyên tắc bồi thường về hình sự

Luật bồi thường về hình sự

競馬法	Luật đua ngựa
軽犯罪法	Luật về các tội nhẹ
刑法	Luật hình sự
検察審査会法	Luật về thanh tra công việc kiểm sát
検察庁法	Luật về viện công tố, viện kiểm sát
憲法 (日本国憲法)	Hiến pháp (Hiến pháp Nhật Bản)
公害罪法 (人の健康に係る公害犯罪の処罰に関する法律)	Luật chống ô nhiễm môi trường (Luật liên quan tới việc xử phạt những hành động gây ô nhiễm môi trường làm hại đến sức khỏe con người)
航空機の強取等の処罰に関する法律	Luật về xử phạt tội cướp máy bay
航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律	Luật về hành vi gây nguy hiểm cho hàng không
更生保護法	Luật giám hộ cải tạo
国際捜査共助法	Luật hỗ trợ điều tra quốc tế
国籍法	Luật quốc tịch
戸籍法	Luật hộ tịch
国家賠償法	Luật về bồi thường nhà nước
[さ行]	[さ行]
裁判所法	Luật Tòa án
酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律	Luật về phòng chống các hành vi gây phiền nhiễu đến công chúng do người say rượu gây ra
自転車競技法	Luật đua xe đạp
児童買春, 児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律	Luật về quy chế, trừng phạt và giám hộ trẻ em liên quan đến các hành vi mại dâm và khiêu dâm trẻ em
自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律	Luật về trừng phạt các hành vi như lái xe gây chết người, bị thương
児童福祉法	Luật phúc lợi trẻ em
銃砲刀剣類所持等取締法	Luật quản lý các loại vũ khí như súng, gươm, dao
出入国管理及び難民認定法	Luật quản lý xuất nhập cảnh và công nhận người tị nạn
少年院法	Luật về trung tâm/trường cải tạo thiếu niên

少年鑑別所法	Luật trạm giám định thiếu niên
少年審判規則	Nguyên tắc xét xử các vụ thiếu niên phạm pháp
少年の保護事件に係る補償に関する規則 (少年補償規則)	Nguyên tắc về bồi thường trong các vụ thiếu niên phạm pháp (Nguyên tắc bồi thường thiếu niên)
少年の保護事件に係る補償に関する法律 (少年補償法)	Luật về bồi thường trong các vụ thiếu niên phạm pháp (Luật bồi thường thiếu niên)
少年法	Luật về thiếu niên phạm pháp (luật thiếu niên)
商法	Luật thương mại
職業安定法	Luật bảo đảm công ăn việc làm
人身保護法	Luật bảo thân
新東京国際空港の安全確保に関する緊急措置法	Luật ban hành biện pháp khẩn cấp để bảo vệ an ninh của Sân bay quốc tế mới Tokyo
森林法	Luật kiểm lâm
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	Luật về bảo vệ sức khỏe tâm thần và phúc lợi đối với những người bị bệnh tâm thần
船員法	Luật thủy thủ
船舶安全法	Luật an toàn cho tàu bè
船舶職員法	Luật về nhân viên làm việc trên tàu
船舶法	Luật tàu bè
組織犯罪処罰法 (組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律)	Luật trừng phạt mang tính tập thể (luật liên quan đến quy chế thu lợi từ hành động tội phạm và trừng phạt các tội có tính tổ chức)
[た行]	[た行]
大麻取締法	Luật kiểm soát cần sa
著作権法	Luật bản quyền tác giả
通貨及証券模造取締法	Luật kiểm soát việc làm giả tiền và chứng khoán
鉄道営業法	Luật kinh doanh đường sắt
電気通信事業法	Luật kinh doanh viễn thông
電波法	Luật vô tuyến điện
盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律	Luật phòng chống và xử lý tội trộm cắp
逃亡犯罪人引渡法	Luật dẫn độ tội phạm bỏ trốn

道路運送車両法

道路交通法

毒物及び劇物取締法

Luật xe vận tải đường bộ

Luật giao thông đường bộ

Luật kiểm soát các chất độc và các chất có hại

[な行]

日本国憲法

日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約 (安保条約)

日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法

日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法

[な行]

Hiến pháp Nhật Bản

Hiệp ước về hợp tác tương hỗ và bảo đảm an toàn giữa hai nước Nhật – Mỹ (Hiệp ước an ninh)

Luật hình sự đặc biệt ban hành để đáp ứng điều 6 Hiệp ước an ninh Nhật – Mỹ về các cơ sở và khu vực của quân đội Mỹ, cũng như đáp ứng thực thi hiệp định về các vị trí của quân đội Mỹ trên đất Nhật.

Luật hình sự đặc biệt ban hành để đáp ứng việc thực thi hiệp định liên quan đến các vị trí của liên quân quốc tế trên đất Nhật

[は行]

売春防止法

破壊活動防止法

爆発物取締罰則

罰金等臨時措置法

犯罪捜査規範

犯罪捜査のための通信傍受に関する法律

犯罪者被害者等給付金支給法

犯罪被害者等の保護を図るための刑事手続に付随する措置に関する法律

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律

武器等製造法

[は行]

Luật phòng chống mại dâm

Luật ngăn chặn các hành động phá hoại

Luật quản lý chất nổ

Luật biện pháp xử lý tạm thời như phạt tiền

Quy chế về điều tra tội phạm

Luật liên quan đến việc nghe lén thông tin phục vụ cho việc điều tra tội phạm

Luật về tiền trợ cấp an ủi cho nạn nhân của tội phạm

Luật liên quan đến các biện pháp kèm theo các thủ tục hình sự nhằm bảo vệ cho nạn nhân của các vụ tội phạm

Luật về kiểm soát và cải thiện các ngành kinh doanh ảnh hưởng đến thuần phong mỹ tục

Luật chế tạo vũ khí

法廷等の秩序維持に関する法律	Luật liên quan đến việc duy trì trật tự ở tòa án
暴力行為等処罰ニ関スル法律 保護司法	Luật về việc xử phạt các hành vi bạo lực Giám hộ tư pháp
[ま行]	[ま行]
麻薬及び向精神薬取締法	Luật kiểm soát ma túy và các loại thuốc an thần khác
麻薬及び向精神薬取締法等特例法 (国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律)	Luật liên quan đến điều khoản đặc biệt của luật kiểm soát ma túy và thuốc an thần (luật về những điều khoản đặc biệt của Luật kiểm soát ma túy và thuốc an thần nhằm ngăn chặn việc tiếp tay cho những hành vi bất chính liên quan đến các loại thuốc cấm với sự hợp tác quốc tế)
未成年者飲酒禁止法	Luật nghiêm cấm người vị thành niên uống rượu
未成年者喫煙禁止法	Luật nghiêm cấm người vị thành niên hút thuốc lá
民事訴訟法	Luật tố tụng dân sự
民法	Luật dân sự
[や行]	[や行]
有線電気通信法	Luật truyền thông tin qua đường dây hữu tuyến
郵便法	Luật bưu chính
[ら行]	[ら行]
領海及び接続水域に関する法律	Luật liên quan đến lãnh hải và các vùng biển tiếp giáp
領事関係に関するウィーン条約 (ウィーン条約)	Công ước Viên về quan hệ lãnh sự (Công ước Viên)
旅券法	Luật hộ chiếu
労働基準法	Luật tiêu chuẩn lao động

第 5 罪名

[あ行]

遺棄罪

遺棄致死傷罪

遺失物等横領罪

威力業務妨害罪

往来危険罪

横領罪

[あ行]

Tội bỏ mặc

Tội bỏ mặc gây thương tích hoặc chết người

Tội biển thủ đồ bị mất hay bị bỏ quên

Tội uy hiếp cản trở công việc

Tội đi lại nguy hiểm

Tội biển thủ

[か行]

覚せい剤取締法違反

過失傷害罪

過失致死罪

過失運転致死傷罪

危険運転致死傷罪

偽証罪

偽造外国通貨行使罪

偽造通貨行使罪

偽造無印公文書行使罪

偽造無印私文書行使罪

偽造有印公文書行使罪

偽造有印私文書行使罪

偽造有価証券行使罪

器物損壊罪

恐喝罪

強制わいせつ罪

強制わいせつ致死傷罪

脅迫罪

業務上横領罪

[か行]

Tội vi phạm luật kiểm soát các chất kích thích

Tội gây thương tích không cố ý, tội gây thương tích do bất cẩn

Tội gây chết người không cố ý, tội gây chết người do bất cẩn

Tội gây thương tích, chết người do lái xe bất cẩn

Tội lái xe nguy hiểm gây thương tích, chết người

Tội làm chứng sai sự thật

Tội sử dụng ngoại tệ giả

Tội sử dụng tiền giả

Tội sử dụng công văn giả không đóng dấu

Tội sử dụng giấy tờ cá nhân giả không đóng dấu

Tội sử dụng công văn giả có đóng dấu

Tội sử dụng giấy tờ cá nhân giả có đóng dấu

Tội sử dụng chứng khoán giả

Tội phá hủy đồ vật

Tội hăm dọa người khác để tống tiền

Tội cưỡng chế dâm ô

Tội cưỡng chế dâm ô gây chết người

Tội đe dọa

Tội biển thủ trong công việc

業務上過失往來危險罪	Tội gây nguy hiểm giao thông vì lý do bất cẩn trong khi làm việc
業務上過失傷害罪	Tội gây thương tích cho người khác vì lý do bất cẩn trong khi làm việc
業務上過失致死罪	Tội làm chết người vì lý do bất cẩn trong khi làm việc
強要罪	Tội cưỡng bách, ép buộc
現住建造物等放火罪	Tội phóng hỏa những công trình kiến trúc có người ở
建造物等以外放火罪	Tội phóng hỏa các vật khác không phải là công trình xây dựng
建造物等延燒罪	Tội làm cháy lan đến công trình xây dựng
公印偽造罪	Tội giả mạo con dấu công văn
公印不正使用罪	Tội sử dụng bất hợp pháp con dấu công văn
強姦罪	Tội hiếp dâm
強姦致死傷罪	Tội hiếp dâm gây chết người
公正証書原本不実記載罪	Tội viết sai sự thật vào công văn chứng từ
公然わいせつ罪	Tội công khai dâm ô
強盜強姦罪	Tội cướp của hiếp dâm
強盜強姦致死傷罪	Tội cướp của hiếp dâm gây chết người
強盜罪	Tội cướp của
強盜致死罪	Tội cướp của gây chết người
強盜致傷罪	Tội cướp của gây thương tích
強盜予備罪	Tội có ý đồ cướp của
公用文書毀棄罪	Tội phá hủy các công văn
公務執行妨害罪	Tội gây cản trở thi hành công vụ
昏睡強盜罪	Tội dùng thuốc mê để cướp của
[さ行]	[さ行]
詐欺罪	Tội lừa gạt
殺人罪	Tội giết người
殺人予備罪	Tội có ý đồ giết người
私印偽造罪	Tội giả mạo con dấu cá nhân
私印不正使用罪	Tội sử dụng con dấu cá nhân bất hợp pháp
死体遺棄罪	Tội vứt bỏ tử thi
重過失傷害罪	Tội gây thương tích cho người khác vì quá

重過失致死罪
住居侵入罪
銃砲刀劍類所持等取締法違反

傷害罪
傷害致死罪
常習賭博罪
常習累犯窃盜罪
証人威迫罪
証拠隱滅罪
窃盜罪
贈賄罪

[た行]

逮捕監禁罪
逮捕監禁致死傷罪

單純逃走罪
通貨偽造罪
盜品等無償讓受け罪
盜品等有償讓受け罪
道路交通法違反
毒物及び劇物取締法違反

賭博場開帳罪
賭博罪

[は行]

背任罪
犯人藏匿罪
非現住建造物等放火罪

売春防止法違反
放火罪
暴行罪

bắt cần

Tội gây chết người vì quá bắt cần
Tội xâm nhập gia cư bất hợp pháp
Vi phạm luật quản lý các loại vũ khí như súng, gươm, dao
Tội gây thương tích
Tội gây thương tích làm chết người
Tội thường xuyên cờ bạc
Tội thường xuyên trộm cắp
Tội đe dọa nhân chứng
Tội giấu diếm hoặc hủy bỏ chứng cứ
Tội trộm cắp
Tội hối lộ

[た行]

Tội bắt bớ và giam cầm bất hợp pháp
Tội bắt bớ và giam cầm bất hợp pháp gây chết người
Tội bỏ trốn
Tội làm tiền giả
Tội nhận đồ ăn cắp cho không
Tội mua lại đồ ăn cắp
Tội vi phạm luật giao thông đường bộ
Tội vi phạm luật kiểm soát các chất độc và chất nguy hiểm
Tội mở sòng bạc
Tội cờ bạc

[は行]

Tội làm trái trách nhiệm, tội làm sai chức vụ
Tội che giấu cho tội phạm
Tội phóng hỏa các công trình kiến trúc không có người ở
Tội vi phạm luật phòng chống mại dâm
Tội phóng hỏa
Tội hành hung

暴力行為等処罰ニ関スル法律違反

保護責任者遺棄罪

保護責任者遺棄致死傷罪

[ま行]

麻薬及び向精神薬取締法違反

身の代金目的拐取罪

身の代金目的拐取幫助罪

身の代金目的拐取予備罪

身の代金目的被拐取者收受罪

無印公文書偽造罪

無印私文書偽造罪

名誉毀損罪

[や行]

有印公文書偽造罪

有印私文書偽造罪

有価証券偽造罪

Tội vi phạm luật về trừng phạt các hành vi bạo lực

Tội bỏ mặc người có trách nhiệm bảo hộ

Tội bỏ mặc người có trách nhiệm bảo hộ gây thương tích hay chết người

[ま行]

Tội vi phạm luật kiểm soát ma túy và các loại thuốc an thần

Tội bắt cóc tổng tiền

Tội tiếp tay cho thủ phạm bắt cóc tổng tiền

Tội có ý đồ bắt cóc tổng tiền

Tội giấu con tin cho thủ phạm với mục đích tổng tiền

Tội làm giả công văn không có đóng dấu

Tội làm giả giấy tờ cá nhân không có đóng dấu

Tội gây tổn hại danh dự nhân phẩm

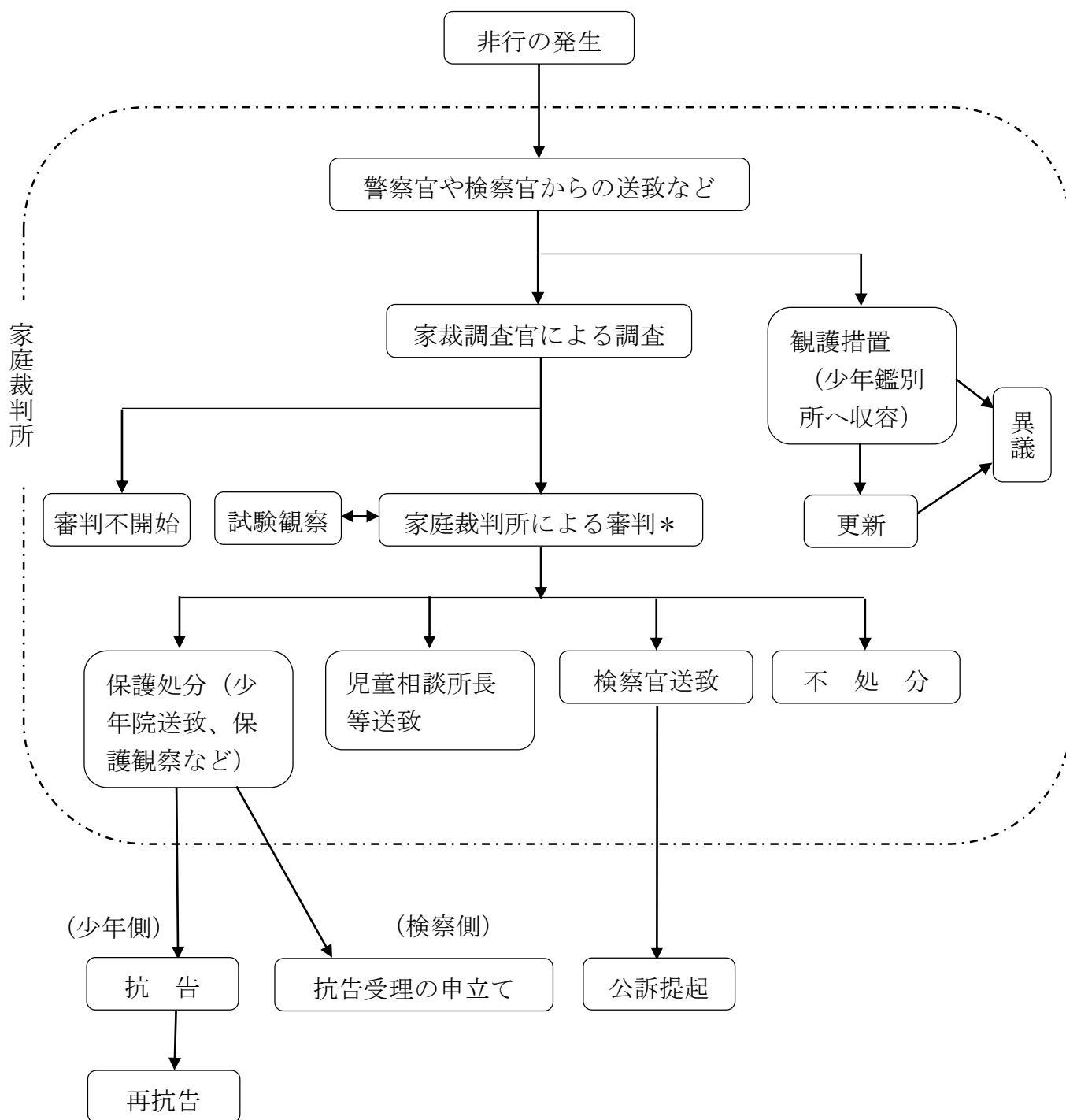
[や行]

Tội làm giả công văn có đóng dấu

Tội làm giả giấy tờ cá nhân có đóng dấu

Tội làm giả chứng khoán

少年保護事件の手続の流れ



* 複雑困難な重大事件などでは、①3人の裁判官が審判したり、②検察官が立ち会うことがあります。